

EPSON

Endeavor AY321S



ユーザーズマニュアル

Windows 8

ご使用の前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。

情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。

購入時

使いはじめ
↓
使いこなしたいとき

困ったとき

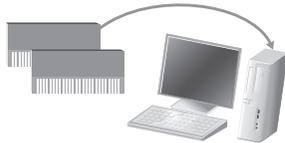
故障
したとき

やりたいこと

- 本機の添付品を知りたい
- Windowsをセットアップしたい
- 本機を設置したい
- インターネット/メールをしたい
- Windowsの操作方法を知りたい
- 用語を調べたい
- アプリの操作方法を知りたい
- 周辺機器(プリンター、デジタルカメラなど)を使いたい

- オプション製品(キーボード、マウス、アプリなど)を使いたい

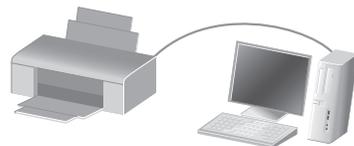
- メモリーを増設したい **p.69**
- CD/DVDを使いたい **p.30**



- セキュリティー設定をしたい **p.56**
- サウンドの設定をしたい **p.48**



- 添付アプリを知りたい **p.21**
- UEFIの設定を変更したい **p.81**
- HDD領域を変更したい **p.127**
- 再インストールをしたい **p.103**
- 省電力で使いたい **p.63**
- 本機の仕様を知りたい **p.131**
- USB機器を接続したい **p.39**



- トラブルを解決したい **p.110**
- システム診断をしたい **p.124**

- サポート・サービス情報を知りたい
- 修理を依頼したい



紙マニュアル

紙で添付されている情報です。



PC お役立ちナビ

コンピューターの画面で見る電子の情報です。

情報の場所



スタートアップガイド



【お役立ち】



オプション製品のマニュアル



ユーザーズマニュアル(本書)

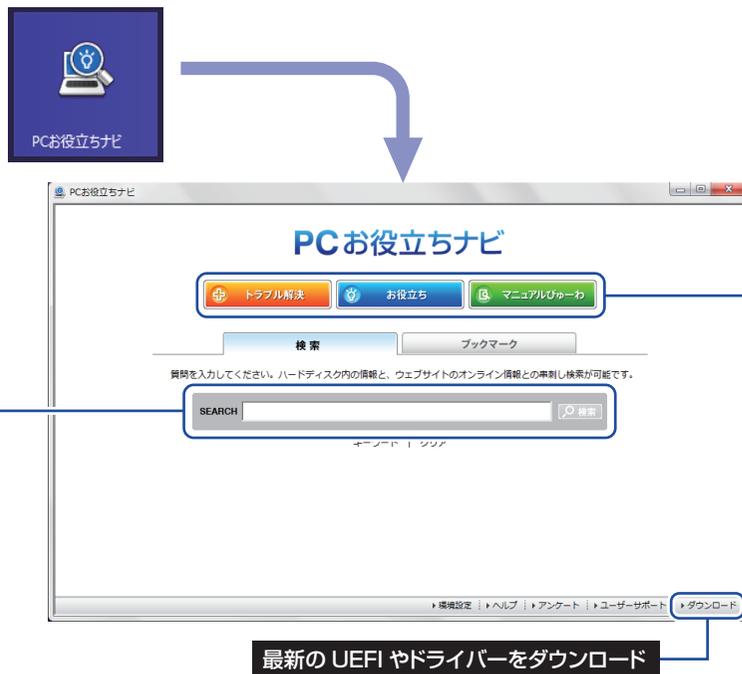


PCお役立ちナビ p.4



知りたい情報はこれで検索！ PC お役立ちナビ

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。最新のUEFI やドライバーもダウンロードできます。



① 検索をする

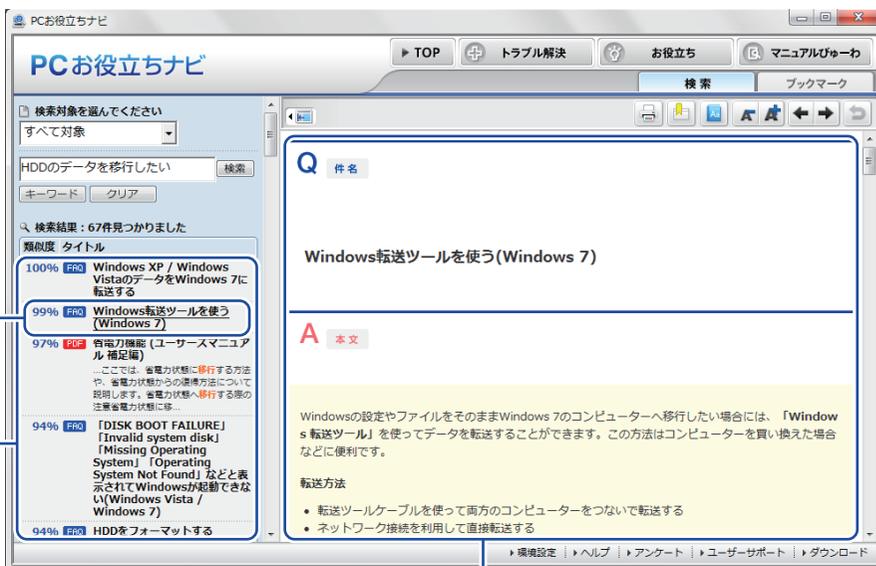
TOPページから
検索実行

本機に収録されている情報+ユーザーサポート
ページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル (PDF)・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。

① 見たい項目
を選択

検索結果



② 内容が表示される

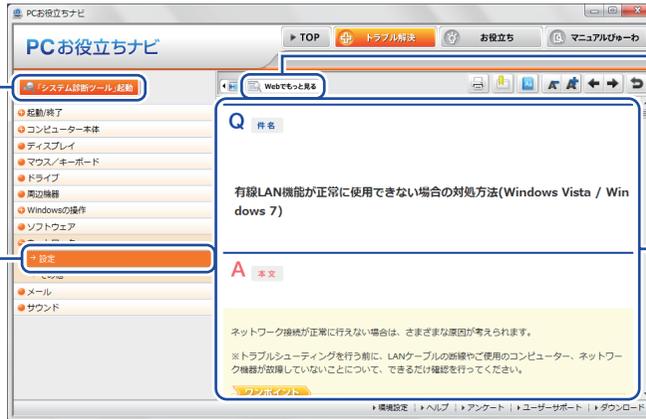
② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決

トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

システム診断
を実行

①トラブルの種類
を選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

②内容が表示される

お役立ち

コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

①情報の分類を
選択

②見たい項目を
選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

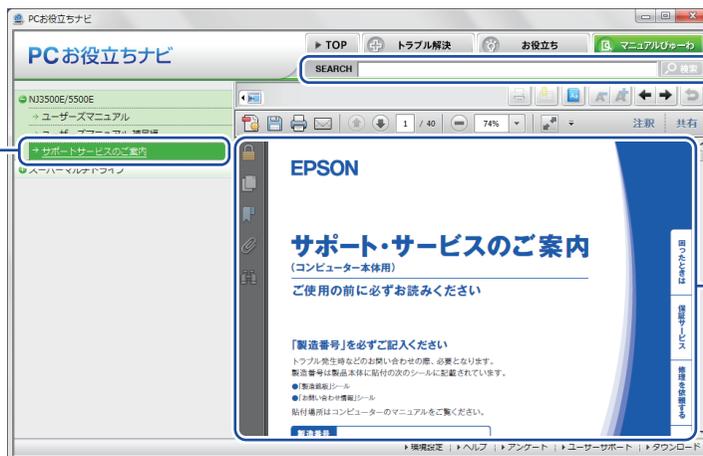
[お役立ち]内の
情報を検索

③内容が表示される

マニュアルびゅーわ

本機に添付されているマニュアルのPDFデータを収録しています。

①見たいマニュアル
を選択



[マニュアルびゅーわ]
内の情報を検索

②マニュアル(PDF)
が表示される

<イメージ>

目次

ご使用の前に

| | |
|-----------------|----|
| 製品保護上の注意..... | 10 |
| マニュアルの読み方..... | 13 |
| 各部の名称..... | 19 |
| 添付されているアプリ..... | 21 |

1 コンピューターの基本操作

| | |
|---------------------------|----|
| マウスを使う..... | 24 |
| キーボードを使う..... | 25 |
| HDD の概要..... | 28 |
| 光ディスクメディアを使う..... | 30 |
| USB 機器を使う..... | 39 |
| 画面表示機能..... | 41 |
| サウンド機能..... | 48 |
| ネットワーク機能..... | 52 |
| インターネットを使用する際のセキュリティ対策... | 56 |
| 省電力機能..... | 63 |
| そのほかの機能..... | 67 |

2 装置の増設・交換

| | |
|-----------------|----|
| 増設・交換できる装置..... | 70 |
| メモリーの装着..... | 71 |

3 UEFI の設定

| | |
|------------------------------|----|
| UEFI の設定を始める前に..... | 82 |
| UEFI Setup ユーティリティの操作..... | 83 |
| UEFI Setup ユーティリティの設定項目..... | 95 |

4

再インストール

| | |
|--------------------------------|-----|
| 再インストールの前に..... | 104 |
| PCをリフレッシュする..... | 105 |
| すべてを削除して Windows を再インストールする... | 106 |

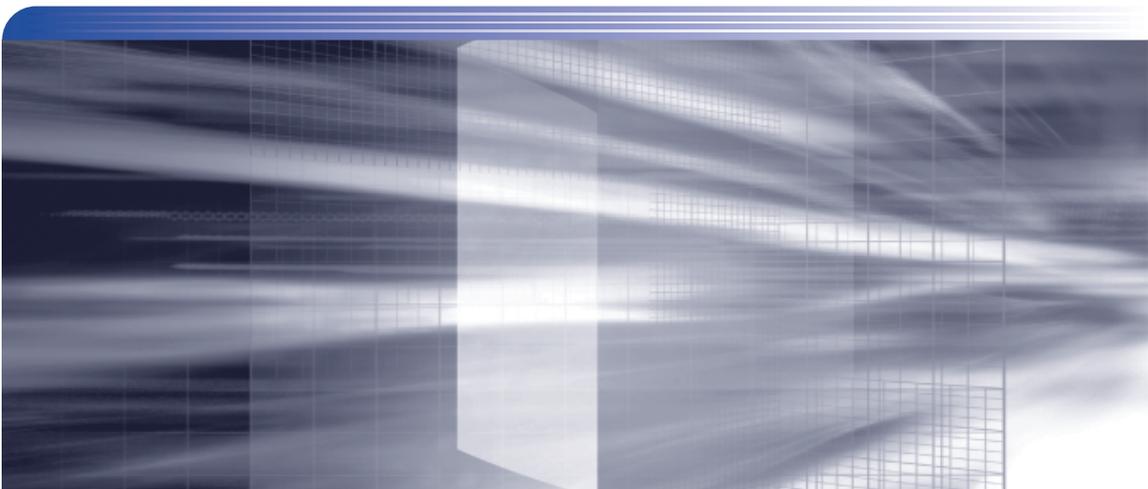
5

困ったときは

| | |
|---------------------|-----|
| トラブルが発生したら..... | 110 |
| 起動・画面表示できないときは..... | 112 |
| トラブル時に効果的な対処方法..... | 117 |

付録

| | |
|----------------------|-----|
| お手入れ..... | 126 |
| HDD 領域の変更..... | 127 |
| コンピューターを廃棄するときは..... | 130 |
| 機能仕様一覧..... | 131 |



ご使用前に

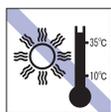
本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項や、取り扱い上の注意などを説明します。

| | |
|-----------------|----|
| 製品保護上の注意..... | 10 |
| マニュアルの読み方..... | 13 |
| 各部の名称..... | 19 |
| 添付されているアプリ..... | 21 |

製品保護上の注意

使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。

故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～ 35℃です。



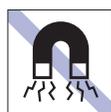
直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。また、直射日光などの紫外線は、変色の原因となります。



ホコリの多い所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



不安定な所には設置しないでください。落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



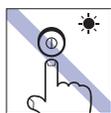
電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがざりざりの所など）に本機を置かないでください。

電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えてしまいます。

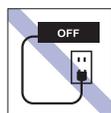


本機の上には重い物を載せないでください（本機を横置きで使用する場合は、18kg までのディスプレイを載せることができます）。

重圧により、故障や誤動作の原因となります。



アクセスランプ点灯・点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。

電源を切っても、本機内部に微少な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



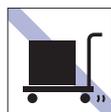
移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。

内蔵の周辺機器（HDD、光ディスクドライブなど）も含めて、故障、誤動作の原因となります。



輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。

配線ケーブルはすべて取り外し、光ディスクメディアなどは取り出してください。



本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。

衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



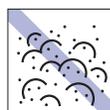
無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力のUPSを使用してください。正弦波出力以外のUPSを使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。

光ディスクメディア

光ディスクメディアは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、光ディスクメディアに収録されているデータが破損するおそれがあります。



直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。



上に物を載せないでください。



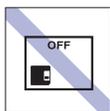
キズを付けしないでください。



クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスランプ点灯・点滅中は、光ディスクメディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。



シールを貼らないでください。



レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。



レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。



光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングするCDは使わないでください。

マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



レンズ部分に触れないでください。



落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。



持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。

マニュアルの読み方

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。

本書で記載しているコンピューターの製品仕様

本書では特に記載がない限り、下記の製品仕様で説明を行っています。お客様が購入された製品の仕様が下記と異なる場合、それらの使用方法やドライバーのインストール方法などは、購入時に選択された各装置のマニュアルを参照してください。

| | |
|-----------|----------------|
| メモリー | : 1 枚 |
| HDD | : 1 台 |
| 光ディスクドライブ | : 1 台 |
| ディスプレイ機能 | : CPU の機能を使用 |
| ネットワーク機能 | : マザーボードの機能を使用 |
| サウンド機能 | : マザーボードの機能を使用 |

仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、「ユーザーズマニュアル」（本書）とは別に提供されている場合があります。

お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で提供されていますので、ご確認ください。

- 本製品に同梱されている別冊マニュアル
- CD-ROM などに収録されている電子マニュアル（PDF ファイルなど）
- [PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] に収録されている電子マニュアル

マニュアル中の表記

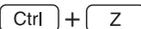
安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

| | |
|---|--|
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

| | |
|---|---|
|  | 制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。 |
|  | 参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。 |
|  | 操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。 |
|  | 手順が次ページに続くことを示します。 |
|  |  で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。  は Enter キーを表します。また、  は  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。 |
|  | +の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。 この例では、  を押したまま  を押します。 |

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

| | |
|---|-----------------------------------|
|  | 本書内の参照ページを示します。 |
|  | 別冊子を示します。 |
| 「 」 | 冊子の名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』 |
|  | サポートツール「PC お役立ちナビ」を示します。 |

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

| | |
|-----------|--------------------------|
| HDD | ハードディスクドライブ |
| 光ディスクメディア | CD メディア、DVD メディアなど |
| 光ディスクドライブ | 光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称 |

オペレーティングシステム (OS) に関する表記

本書では、オペレーティングシステム (OS) の名称を次のように略して表記します。

| | |
|-----------|--|
| Windows 8 | Windows [®] 8 64bit 版 Windows [®] 8 Pro 64bit 版 |
|-----------|--|

HDD 容量の記載

本書では、HDD 容量を 1GB (ギガバイト) =1000MB として記載しています。

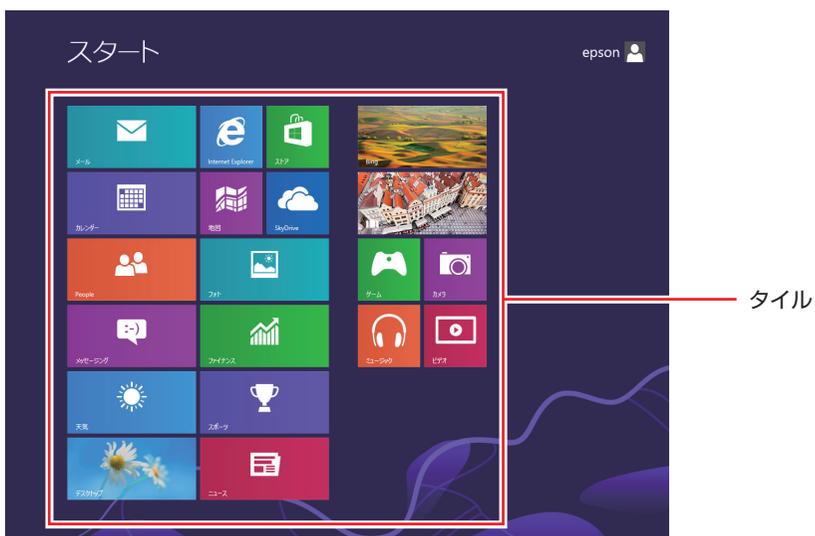
メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB (ギガバイト) =1024MB として記載しています。

Windows の画面表示に関する記載

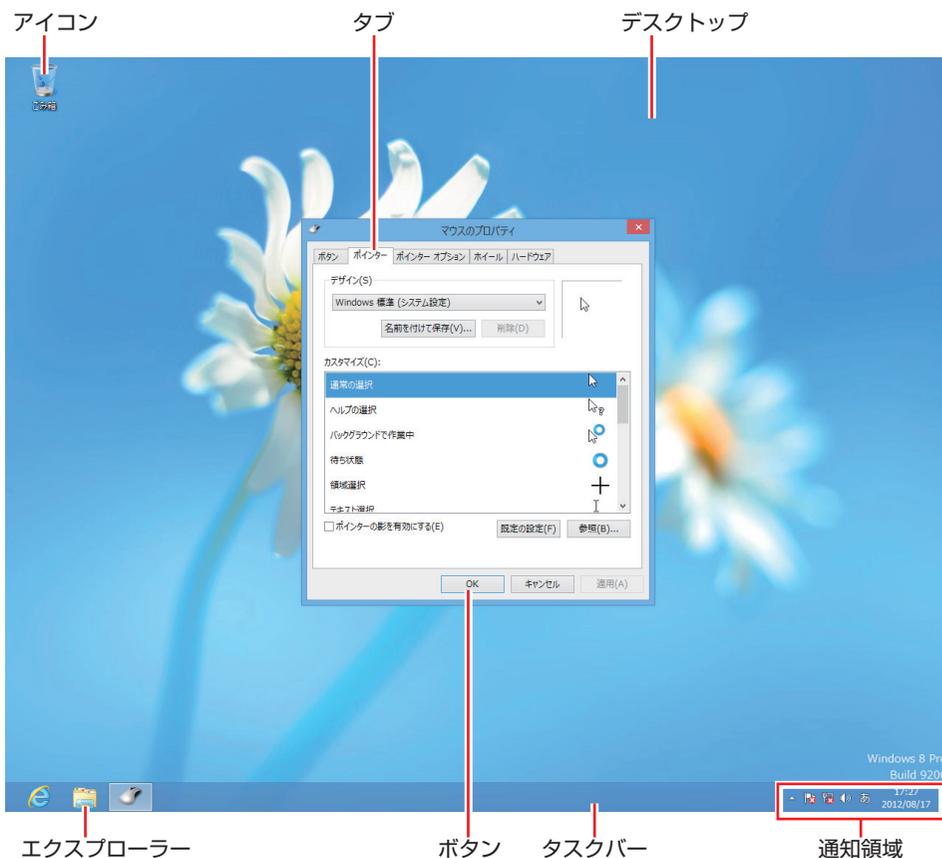
本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載しています。

スタート画面



<イメージ>

デスクトップ画面

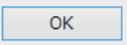


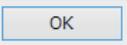
タイトル / ボタン

タイトルやボタンは [] で囲んで記載しています。

例)  : [PC お役立ちナビ]



例)  : [OK]



コントロールパネル

本書では、コントロールパネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。



<表示方法：カテゴリ>

画面操作の記載

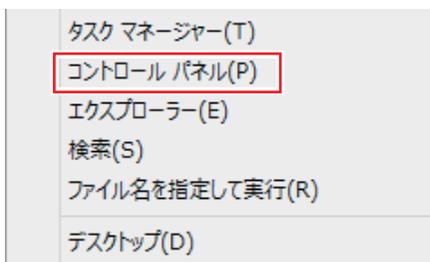
本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載しています。

● 記載例

画面左下隅で右クリック－「コントロールパネル」－「デスクトップのカスタマイズ」－「画面の解像度の調整」

● 実際の操作

- ① 画面左下隅で右クリックします。
- ② 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。



- ③ 表示された画面内の「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。

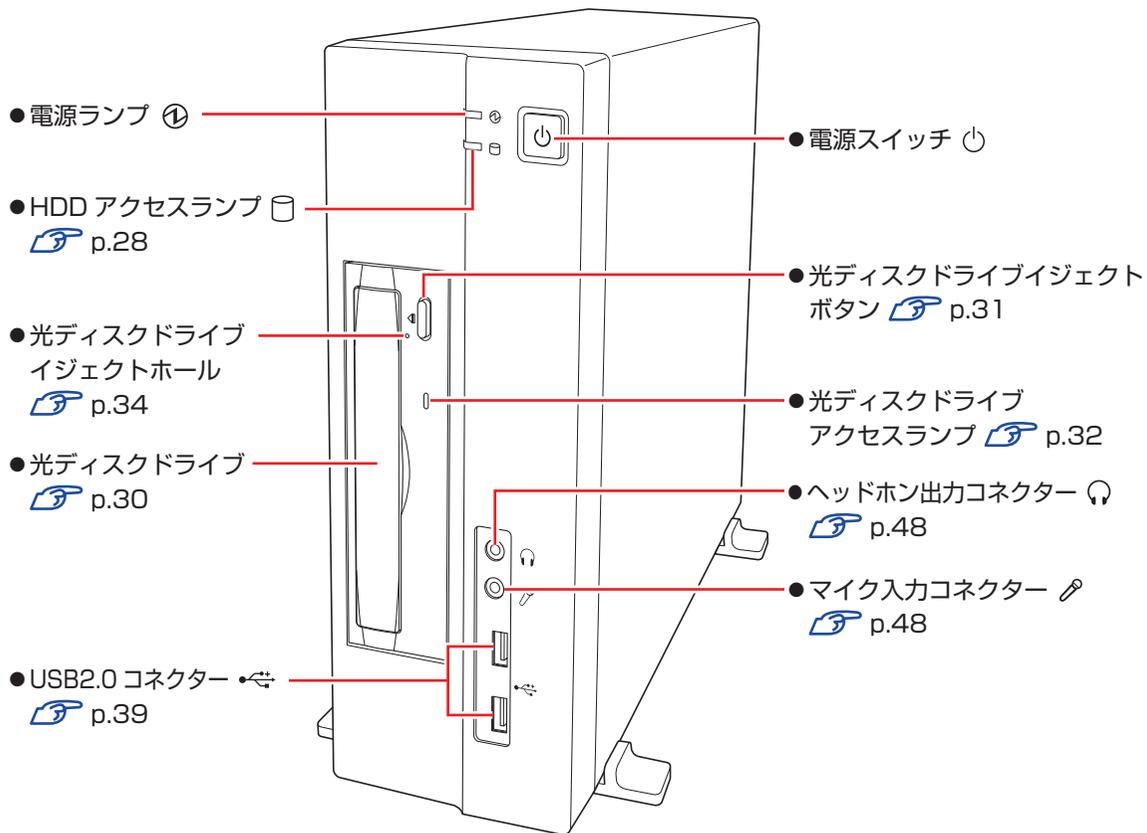


- ④ 表示された画面内の「画面の解像度の調整」をクリックします。

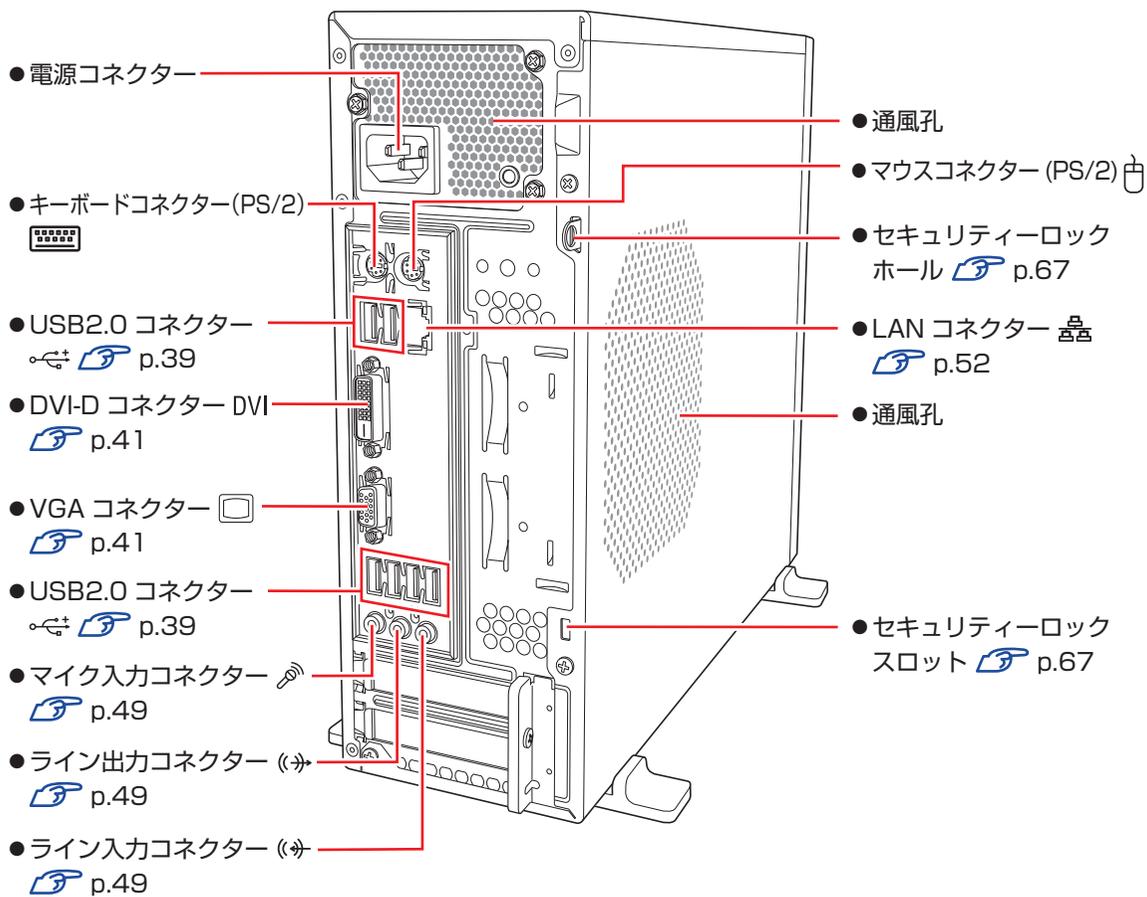


各部の名称

本体前面



本体背面



添付されているアプリ

本機に添付されているアプリについて説明します。

本機にインストールされているアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされています。

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">●Windows 8 本機のオペレーティングシステム (OS) です。 |
| <ul style="list-style-type: none">●本体ドライバー<ul style="list-style-type: none">• チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。• Intel Management Engine ドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。• ビデオドライバー CPU のビデオ機能を使用するためのドライバーです。• サウンドドライバー マザーボード上のサウンド機能を使用するためのドライバーです。• ネットワークドライバー マザーボード上のネットワーク機能を使用するためのドライバーです。• PC お役立ちナビ  p.4、p.110 コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。 システム診断ツールも含まれています。 |
| <ul style="list-style-type: none">●Adobe Reader PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのアプリです。 |
| <ul style="list-style-type: none">●Windows Essentials 2012 ムービーメーカーやフォトギャラリーなど、複数のアプリを含むパッケージです。 |
| <ul style="list-style-type: none">●WinDVD  p.35 DVD VIDEO を再生するためのアプリです。 |
| <ul style="list-style-type: none">●Nero 12 Essentials  p.38 光ディスクメディアに書き込みを行うためのアプリです。 |
| <ul style="list-style-type: none">●楽天 Gateway 楽天サービスへの入り口となるアプリです。 |

必要に応じてインストールするアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じて次の場所からインストールしてください。

チャームを表示 - 「検索チャーム」 - 「おすすめアプリケーションのインストール」

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● マカフィー・PCセキュリティセンター 90 日期間限定版  p.57 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティアプリです。危険なサイトへのアクセスを防ぐ Web セーフティーツール「マカフィー・サイトアドバイザー ライブ」も含まれています。 |
| <ul style="list-style-type: none">● i-フィルター 6 30 日版  p.61 インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングアプリです。 |
| <ul style="list-style-type: none">● Endeavor 電源プラン設定ツール  p.66 本機に節電設定を行うためのアプリです。 |
| <ul style="list-style-type: none">● ATOK 無償試用版 (30 日間) 日本語変換に優れた、日本語入力システムです。 |

1

コンピューターの基本操作

キーボードやマウス、光ディスクドライブの使用方法など、コンピューターの基本的な操作方法について説明します。

| | |
|----------------------------|----|
| マウスを使う | 24 |
| キーボードを使う..... | 25 |
| HDD の概要..... | 28 |
| 光ディスクメディアを使う | 30 |
| USB 機器を使う | 39 |
| 画面表示機能 | 41 |
| サウンド機能 | 48 |
| ネットワーク機能..... | 52 |
| インターネットを使用する際のセキュリティー対策... | 56 |
| 省電力機能 | 63 |
| そのほかの機能..... | 67 |

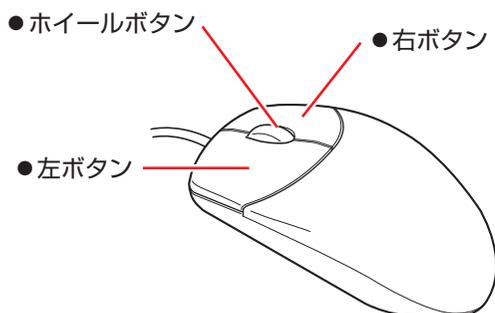
マウスを使う

ここでは、一般的なマウスについて説明します。
マウスのマニュアルが添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

マウスの操作

！ 制限

- 表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの上で使用しないでください。マウスの動きがコンピューターに伝わりません。
- アプリによっては、ホイールボタンが使用できない場合があります。
- 本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。



マウスの基本的な操作は、次のとおりです。

| | |
|-------------|---|
| クリック | マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを1回カチッと押しします。 |
| ダブルクリック | マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを2回続けてカチカチッと押しします。 |
| 右クリック | マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、右ボタンを1回カチッと押しします。 |
| ドラッグアンドドロップ | マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを押したままの状態でもうすを移動し、離します。 |
| スクロール | ホイールボタンを指先で前後に動かすと、縦スクロール操作を行うことができます。ホイールボタンをクリックすると、マウスを動かしてオートスクロールを行うこともできます。 |

マウスの設定変更

マウスボタンの設定や使用環境の変更は、次の場所で行います。

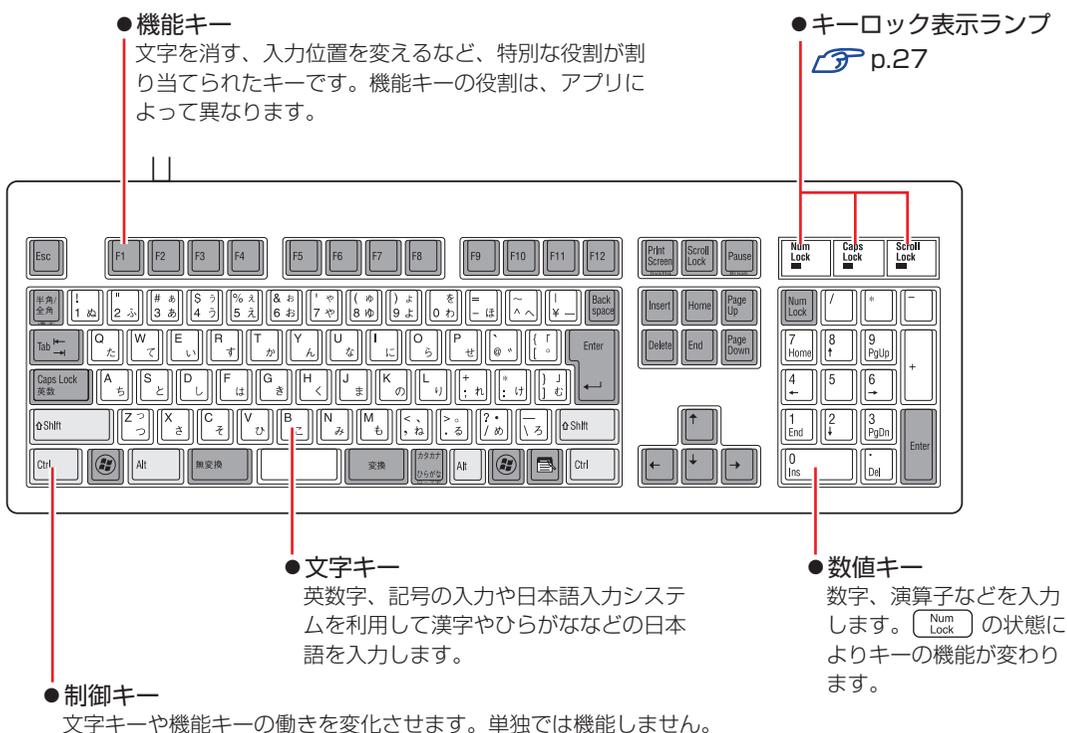
画面左下隅で右クリック - 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「マウス」

キーボードを使う

ここでは、一般的なキーボードについて説明します。
キーボードのマニュアルが添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

キーの種類と役割

各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。



文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。
入力モードによって、入力される文字は異なります。

| | | |
|----------|--------|---------------------------------------|
| 直接入力モード | | キートップのアルファベットをそのまま入力します。 |
| 日本語入力モード | ローマ字入力 | キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。 |
| | かな入力 | キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。 |

入力モードの切り替え

 を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。
日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

日本語を入力するには

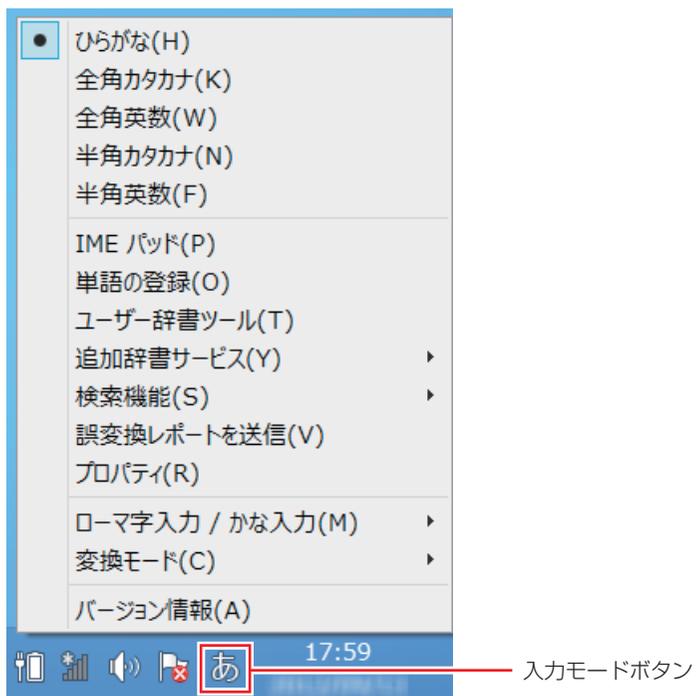
ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。
本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IME

MS-IME の使い方は、次のとおりです。
文字入力の際に表示される「入力モードボタン」を右クリックします。



デスクトップの場合、「入力モードボタン」は通知領域に表示されています。
デスクトップ通知領域の入力モードボタンを右クリックすると、一覧が表示されます。



MS-IME 以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

キーロック表示ランプ

キーボード右上の3つのランプは、キーボードの入力状態を表示しています。

| | | |
|-------------|------|--|
| Num Lock | 役割 | 数値キーの状態を切り替え |
| | 切り替え |  を押します。 |
| | 点灯時 | 数値を入力 |
| | 消灯時 | カーソルの位置を制御 数値キーの    などが使えます。 |
| Caps Lock | 役割 | アルファベットの大文字 / 小文字の切り替え |
| | 切り替え |  +  を押します。 |
| | 点灯時 | 大文字を入力 |
| | 消灯時 | 小文字を入力 |
| Scroll Lock | 役割 | アプリによって異なります。 |
| | 切り替え |  を押します。 |

HDD の概要

本機には、記憶装置として HDD（ハードディスクドライブ）が搭載されています。

！ 制限

- HDD アクセスランプ点滅中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点滅中は、コンピューターが HDD に対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD 内部のデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると HDD が故障するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。
- HDD が故障した場合、HDD のデータを修復することはできません。

データのバックアップ

HDD に記録されている重要なデータは、光ディスクメディアや外付け HDD などにバックアップしておくことをおすすめします。万一 HDD の故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

購入時のHDD領域

購入時の HDD は、次のように設定されています。

| ドライブ(領域) | 容量 |
|------------|---------|
| Windows RE | 約 300MB |
| システム | 約 260MB |
| MSR | 約 100MB |
| C ドライブ | 残り |
| リカバリー | 約 15GB |

リカバリー領域 / Windows RE 領域

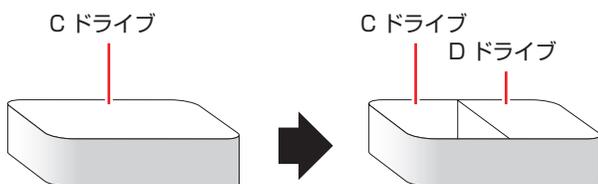
リカバリー領域（約 15GB）には、再インストール用のデータ（Windows / ドライバー / アプリ）が収録されています。また、Windows RE 領域（約 300MB）には、Windows 回復環境（Windows RE）が設定されています。

これらの領域を削除すると、再インストールや Windows RE の使用ができなくなりますので、ご注意ください。

HDDを分割して使用する

1 台の HDD をいくつかの領域に分割して、それぞれ別々のドライブとして使用することができます。

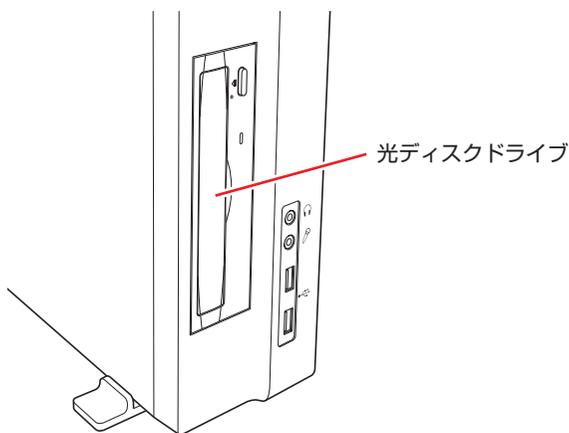
例：1 つの HDD 領域（C ドライブ）を 2 つの HDD 領域（C ドライブと D ドライブ）に分割することができます。



詳しくは、[👉](#) p.127 「HDD 領域の変更」をご覧ください。

光ディスクメディアを使う

本機には、光ディスクドライブ（スーパーマルチドライブ）が搭載されています。光ディスクドライブは、CD-ROMなどの光ディスクメディアを使用するための機器です。ここでは、光ディスクドライブの基本的な使い方について説明します。



光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。飛び散って、けがをする危険があります。



光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れないでください。はさまれると、けがの原因になります。



制限

- 光ディスクドライブを長期間使用しないと、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが開かないことがあります。定期的（3ヶ月に1回程度）にイジェクトボタンを押して、ディスクトレイの開閉を行うことをおすすめします。
- 本機では、CD（コンパクトディスク）の規格に準拠しない「コピーコントロールCD」などの特殊ディスクは、動作保証していません。本機で動作しない特殊ディスクについては、製造元または販売元にお問い合わせください。

使用可能な光ディスクメディア

本機の光ディスクドライブで使える機能とメディアの種類は、次をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] – [マニュアルびゅうわ] – 「光ディスクドライブ取扱説明書」

光ディスクメディアの違いについての簡単な説明は、次をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] – [お役立ち]

光ディスクメディアのセットと取り出し

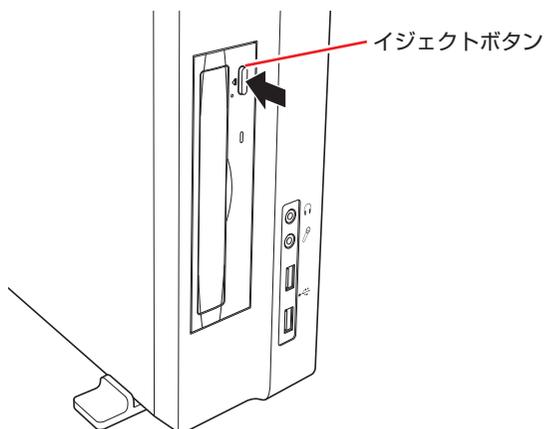
光ディスクメディアのセットと取り出し方法について説明します。

！ 制限

- アクセスランプ点滅中にメディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。
- メディアの出し入れのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。
- 開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- 結露した状態のメディアを使用しないでください。メディアを寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）します。使用すると、誤動作や故障の原因になります。
- 本機では、楕円などの通常と異なった形状のメディアは使用できません。また、縦置き時、8cmのメディアは使用できません。

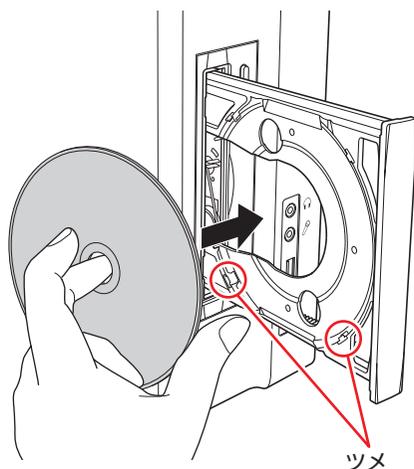
セット方法

- 1 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを開きます。



- 2** メディアの印刷面を本体の左側に向け、ディスクトレイにある落下防止用のツメ（下側2箇所）にセットします。

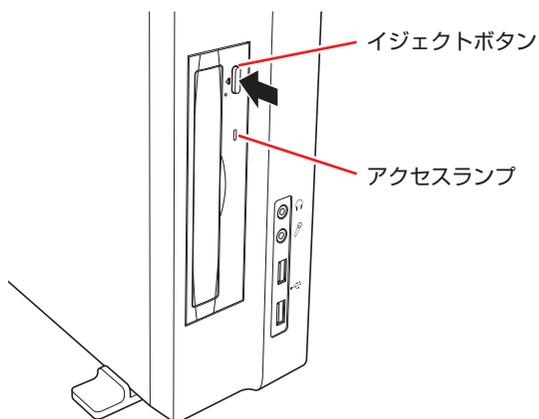
本機が横置きの場合は、メディアの印刷面を上側に向けてセットします。



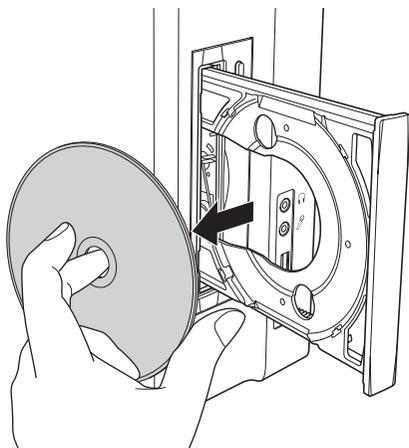
- 3** イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。

取り出し方法

- 1** アクセスランプが点滅していないことを確認し、イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを開きます。



2 光ディスクメディアをディスクトレイから取り出します。



3 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。



参考

イジェクトボタンを押してもメディアが取り出せない場合

アプリによっては、独自の取り出し方法でないとメディアが取り出せないものもあります。詳しくはお使いのアプリのマニュアルをご覧ください。

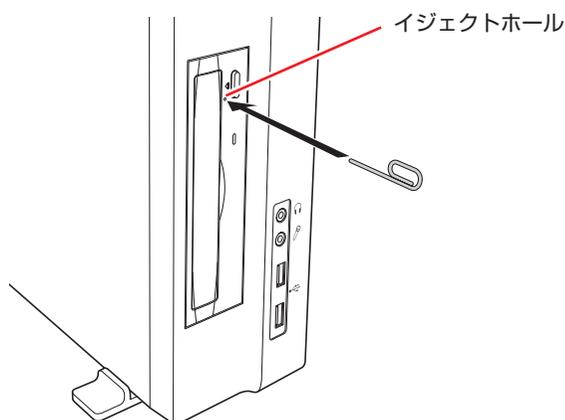
強制的な光ディスクメディアの取り出し

次のような場合には、強制的に光ディスクメディアを取り出すことができます。

- 光ディスクドライブの動作が不安定になったり、故障したりして、光ディスクメディアが取り出せない場合
- 光ディスクメディアをセットしたまま、本機の電源を切ってしまった場合

強制的な光ディスクメディアの取り出し方法は次のとおりです。

- 1** 本機の電源が入っている場合は、電源を切ります。
- 2** イジェクトホールに先の細い丈夫なもの（ゼムクリップを引きのばしたものなど）を差し込みます。
お使いの光ディスクドライブによりイジェクトホールの位置は異なります。



- 3** ディスクトレイが少し飛び出したら、ディスクトレイを引き出し、光ディスクメディアを取り出します。

CDメディアの読み込み・再生

光ディスクドライブでは、データ CD を読み込めるほかに、音楽 CD やビデオ CD、フォト CD などの再生を行うことができます。これらのメディアの中には、再生時に別途専用アプリが必要なものもあります。

DVDメディアの読み込み・再生

本機の光ディスクドライブでは、データが収録された DVD メディアを読み込めるほかに、DVD VIDEO などの再生ができます。DVD VIDEO の再生には、専用のアプリが必要です。



DVD VIDEO 再生時、2 つのディスプレイに同じ画面を表示するクローン表示はサポートしていません。

DVD VIDEO 再生アプリ

DVD VIDEO の再生には「WinDVD」を使用します。
WinDVD は、スタート画面の [Corel WinDVD] から起動します。



WinDVD の詳細は、画面の「Corel ガイド」をご覧ください。



HDCP 非対応の外付けディスプレイにデジタル接続した場合、DVD VIDEO の再生はできません。

DVD VIDEO 再生時の不具合

WinDVD で DVD VIDEO の再生をすると、解像度や色数、リフレッシュレートの設定により、DVD VIDEO の再生ができないことがあります。
DVD VIDEO の再生ができない場合は、解像度や色数、リフレッシュレートを調節してみてください。

 p.43 「表示に関する各種設定」

CPRM で著作権保護されたメディアを再生するには

WinDVD は CPRM で著作権保護されたメディア再生に対応していますが、再生時に必要な「CPRM Pack」がインストールされていません。

インターネットに接続後、「CPRM Pack」のダウンロードおよびインストールを行ってください。

「CPRM Pack」のダウンロードとインストール

「CPRM Pack」のダウンロードおよびインストール方法は、次のとおりです。

- 1** スタート画面の [Corel WinDVD] をクリックし、WinDVD を起動します。
- 2** CPRM で著作権保護されたメディアを光ディスクドライブにセットします。
- 3** 「このディスクには CPRM 著作権保護のかかったタイトルが含まれています。・・・」と表示されたら、内容を確認して [OK] をクリックします。
- 4** 「コーレル CPRM Pack ダウンロード用登録ページへようこそ」と表示されたら、画面の指示に従って、登録を行います。
登録が終了すると、ダウンロードページが表示されます。
- 5** ダウンロードページが表示されたら、画面の指示に従って、「CPRM Pack」のダウンロードとインストールを実行します。
インストールが完了すると、CPRM で著作権保護されたメディアの再生が可能になります。



制限

CPRM で著作権保護されたメディアを再生する場合は、管理者 (Administrator) のアカウントでログオンしてください。

WinDVD ユーザーサポート情報

WinDVD に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

コーレル株式会社

ホームページ : <http://www.corel.jp/>

サポートホームページ : <http://www.corel.jp/support/>

電話 : 03-3544-8179

サポート時間 平日 10:00 ~ 12:00 13:30 ~ 17:30

(土・日・祝日・夏季・年末年始・特定休業日を除く)

メールでのお問い合わせは、サポートホームページに掲載されているメールフォームからご利用いただけます。

WinDVD のよくある問い合わせ (FAQ) もサポートホームページに掲載しております。

光ディスクメディアへの書き込み

本機の光ディスクドライブでは、データ、音楽、画像などを光ディスクメディアに書き込むことができます。

書き込み可能なメディアについては、次をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] – [マニュアルびゅう] – 「光ディスクドライブ取扱説明書」



制限

作成した DVD VIDEO は、一部の DVD プレイヤーで再生できない場合があります。

ライティングアプリ

光ディスクメディアに書き込みを行う場合は、専用のライティングアプリが必要です。本機にはライティングアプリ「Nero 12 Essentials」がインストールされています。

 p.38 「Nero 12 Essentials を使う」

書き込み時の注意

書き込みを行う場合は、次の点に注意してください。

●省電力機能を無効にする

メディアへの書き込み時に、Windows が省電力状態に切り替わると、データ転送エラーが起き、書き込みに失敗して、メディアに記録したデータが失われたり、メディアが使用できなくなる可能性があります。

書き込みを始める前に、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.64 「時間経過で移行させない」

省電力状態に移行する場合は、必ず光ディスクドライブからメディアを取り出してから行ってください。

●速度に対応した光ディスクメディアを選ぶ

書き込みを行う場合は、お使いの光ディスクドライブの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

光ディスクドライブの書き込み速度は、次をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] – [マニュアルびゅう] – 「光ディスクドライブ取扱説明書」

Nero 12 Essentialsを使う

ライティングアプリ「Nero 12 Essentials」を使用すると、光ディスクメディアにデータや音楽、画像などのファイルを書き込むことができます。



「Nero 12 Essentials」と Windows 標準の書き込み機能を同時に使用しないでください。

使い方

書き込みは「Nero Express」で行います。

Nero Express はスタート画面の [Nero Express] から起動します。



Nero Express の詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。

Nero 12 Essentials ユーザーサポート情報

Nero 12 Essentials のサポートについて説明します。

サポートセンターに連絡する前に

Nero 12 Essentials の操作などでお困りの場合は、サポートセンターに連絡する前に、まずヘルプやホームページのサポート情報をご覧ください。

<http://www.nero.com/jpn/support.html>

サポートセンターに問い合わせる

ヘルプ、ホームページのサポート情報を見ても問題が解決しない場合は、下記にお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

株式会社 Nero サポートセンター

受付時間 : 10:00 ~ 12:30/13:00 ~ 17:00
月~金曜日(祝日、特定休業日を除く)

TEL : 045-910-0255

ホームページ: <http://www.nero.com/jpn/support.html>

E-MAIL : 上記ホームページのサポートページからお問い合わせください。

※お問い合わせの際は、パソコンの機種名をお知らせいただく必要があります。

USB 機器を使う

本機には USB2.0 に対応した USB コネクタが、前面に 2 個、背面に 6 個、合計 8 個搭載されています。USB コネクタには USB 対応の機器を接続します。8 個の USB コネクタは同じ機能ですので、どのコネクタを使用しても構いません。



制限

接続した USB 機器によっては、本機の電源を切った状態でも、ランプが光り続けます。これは、お使いの USB 機器の仕様です。

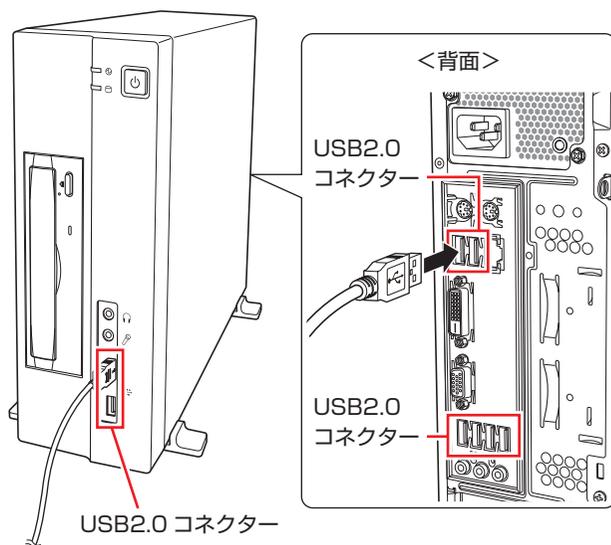
USB機器の接続と取り外し

USB 機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

接続

USB 機器の接続方法は、次のとおりです。

- 1 USB 機器の USB コネクタを、本機の USB コネクタ（）に接続します。



- 2** USB 機器によっては、デスクトップ通知領域の [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されます。



接続する USB 機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは USB 機器のマニュアルをご覧ください。

USB 機器の取り外し

USB 機器の取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

- そのまま取り外す

デスクトップ通知領域の [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った場合はそのまま取り外せます。

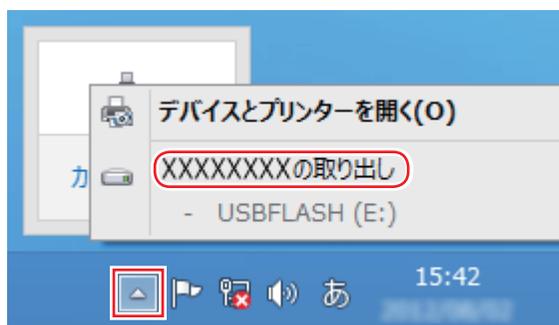
- USB 機器の終了処理をして取り外す

デスクトップ通知領域の [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

USB 機器の終了方法は次のとおりです。

- 1** デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコン - 「(取り外したい USB 機器)の取り出し」をクリックします。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



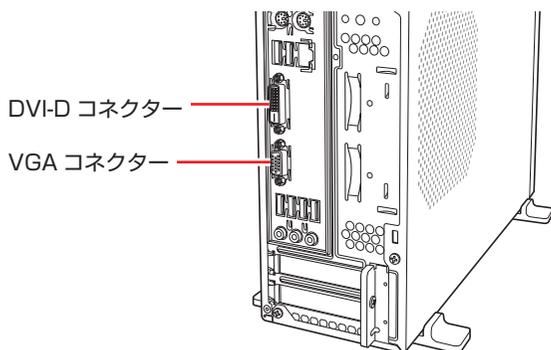
- 2** 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、USB 機器を本機から取り外します。

画面表示機能

本機のマザーボード上には画面表示機能が搭載されています。
ここでは、表示するディスプレイや解像度などの設定方法について説明します。

ディスプレイの接続

本機には、VGA コネクタと DVI-D コネクタの 2 つのコネクタが搭載されており、ディスプレイを 2 台接続することができます。



接続方法の種類

ディスプレイの接続方法には、次の 2 つがあります。

| 接続方法 | コネクタ |
|--------|------------|
| デジタル接続 | DVI-D コネクタ |
| アナログ接続 | VGA コネクタ |

ディスプレイの接続方法

ディスプレイの接続方法は、[別冊](#) 『スタートアップガイド』 - 「コンピューターを設置する」をご覧ください。

表示できる解像度と表示色

本機の画面表示機能で表示可能な解像度と表示色は、次のとおりです。

- 解像度 ピクセル（横×縦）

1024 × 768

1280 × 1024

1360 × 768 *

1366 × 768 *

1440 × 900 *

1600 × 1200

1680 × 1050 *

1920 × 1080 *

1920 × 1200 *

* ワイド表示

- 表示色

32ビット



制限

- 記載している解像度は、本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度です。接続するディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。
- ディスプレイを2台接続してクローン（ミラー）表示した場合、実際に表示できる最大解像度は、コンピューター側の最大解像度と接続するディスプレイの最大解像度のうち、どちらか低い方になります。
- 解像度が高いと、動画再生アプリで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度を下げてください。

表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は次の場所で行います。

画面左下隅で右クリック－「コントロールパネル」－「デスクトップのカスタマイズ」－
「画面の解像度の調整」

The screenshot shows the Windows '画面の解像度' (Screen Resolution) control panel window. The window title is '画面の解像度'. The breadcrumb path is 'ディスプレイ >> 画面の解像度'. The main content area is titled 'ディスプレイ表示の変更' (Change display settings). It features a preview window showing a desktop with a large number '1' and a keyboard icon. Below the preview are three dropdown menus: 'ディスプレイ(S):' (Display) set to '1. LD1731W', '解像度(R):' (Resolution) set to '1280 x 1024 (推奨)' (Recommended), and '向き(Q):' (Orientation) set to '横' (Horizontal). At the bottom, there are buttons for 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and '適用(A)' (Apply). A search bar at the top right contains the text 'コントロール パネルの検索'. A red box highlights the '詳細設定' (Advanced settings) link. Three red lines with text annotations point to specific elements: one to the '1280 x 1024' resolution, one to the '1. LD1731W' display name, and one to the '詳細設定' link.

解像度を
設定します

使用する
ディスプレイの名称

詳細設定

表示機能や表示装置に
関する詳細設定を行いま
す

画面表示の種類

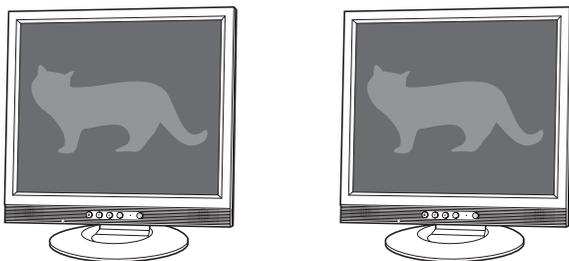
本機では、次のような画面の組み合わせで表示ができます。

- シングルディスプレイ

1つのディスプレイに表示します。

- クローン

2つのディスプレイに同じ画面を表示します。プレゼンテーションを行う場合などに便利です。



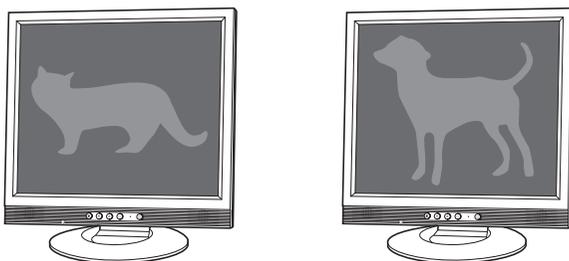
制限

クローン表示での DVD メディアの再生はサポートしていません。

- 拡張デスクトップ

2つのディスプレイに対して、個別に設定をすることができます。複数の画面をコンピュータ上に表示する場合に便利です。

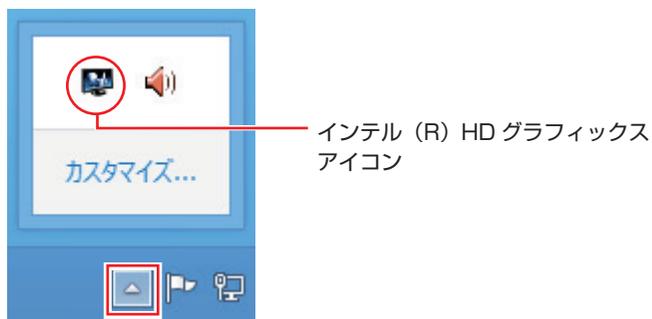
※スタート画面や Windows ストア アプリは 2 画面に表示できません。



画面表示の切り替え方法

ディスプレイの表示を切り替える方法は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ通知領域の [△] – 「インテル (R) HD グラフィックス」 アイコンをクリックし、「グラフィック プロパティ…」を選択します。



モードの選択画面が表示された場合は、モードを選択し、[OK] をクリックします。以降は基本モードを選択した場合の画面です。



- 2** 「インテル® グラフィック / メディアコントロール・パネル」が表示されたら、「マルチディスプレイ」の「動作モード」でディスプレイの表示方法を選択します。

 p.44 「画面表示の種類」



- 3** 「拡張デスクトップ」を選択した場合は、「メインディスプレイ」、「2番目のディスプレイ」を設定します。

「メインディスプレイ」には、[スタート] メニューやタスクバーが表示されます。



4 「一般設定」で解像度などを設定します。



5 [OK] をクリックします。

6 「新しい設定が適用されました。これらの設定を保持しますか？」と表示されたら、[OK] をクリックします。

これで画面の切り替えは完了です。



参考

グラフィックオプションから設定する

ディスプレイの表示の切り替えは、次の場所からも行えます。

デスクトップ通知領域の [△] - 「インテル (R) HD グラフィックス」
アイコンをクリック - 「グラフィックオプション」 - 「出力先」

サウンド機能

本機のマザーボード上には、サウンド機能が搭載されています。
本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力するには、スピーカーを接続する必要があります。

オーディオ機器の接続

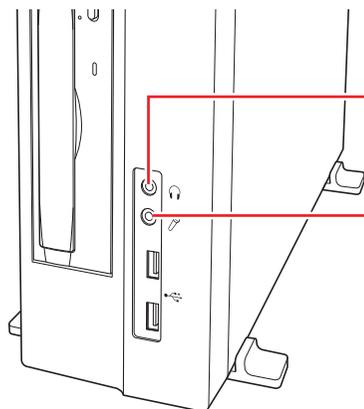
本機には、オーディオ機器を接続するためのコネクタが搭載されています。
各コネクタの位置は、次のとおりです。



注意

ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。

前面



- ヘッドホン出力コネクタ 
ヘッドホンや外部スピーカーを接続します。
- マイク入力コネクタ 
マイクを接続して、音声を入力します。



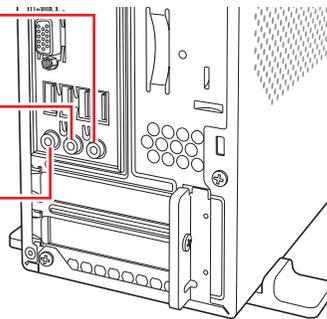
参考

使用できるマイク

マイク入力コネクタに接続して使用できるマイクは、プラグインパワー対応のコンデンサーマイクです。

背面

- ライン入力コネクタ (🔌) ————
オーディオ機器を接続して、音声を入力します。
- ライン出力コネクタ (🔌) ————
外部スピーカーを接続して、音声を出力します。
- マイク入力コネクタ (🎤) ————
マイクを接続して、音声を入力します。



音量の調節

スピーカーを接続していて、Windows 起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の場所で音量を調節します。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「スピーカー」



<スピーカー>

サウンドユーティリティを使う

サウンドユーティリティを使用すると、スピーカーの設定やマイク音量の設定、音響効果の設定などができます。

サウンドユーティリティを起動するには、デスクトップ通知領域の [△] - 「Realtek HD オーディオマネージャ」アイコン（赤色）をダブルクリックします。



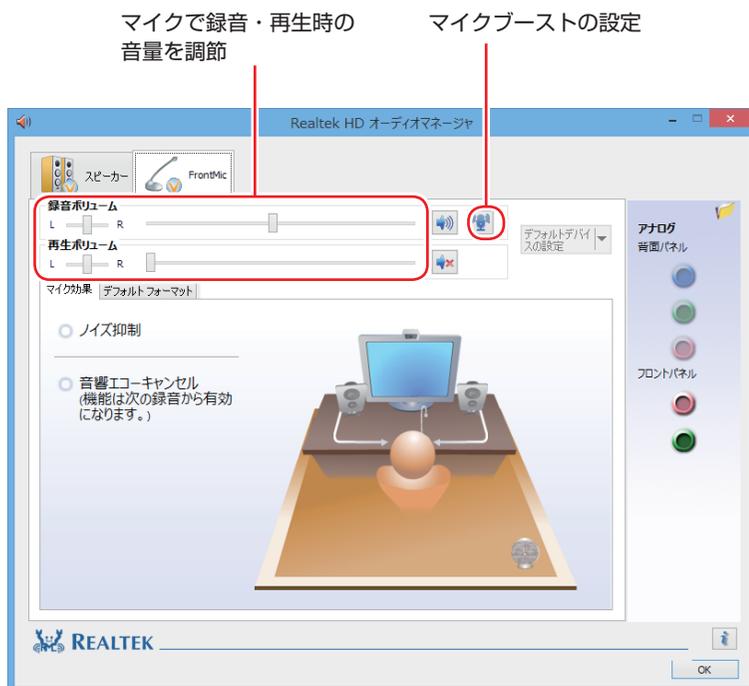
次の画面が表示されます。



※ 「スピーカー」、「マイク」タブは、機器接続時のみ表示されます。

マイク使用時の音量調節

本機にマイクを接続して使用する場合、マイクの音量調節はサウンドユーティリティの「マイク」タブで行います。



※「マイク」タブは、マイク接続時のみ表示されます。

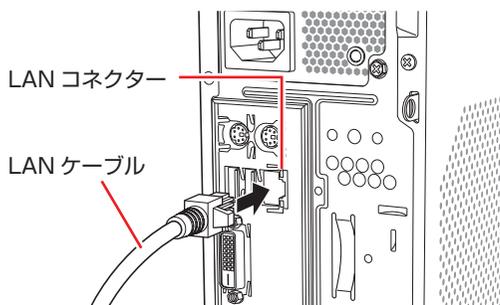
録音時に音量を調節しても音が小さいときは、 をクリックしてマイクブーストのつまみを右へスライドさせ、音量を上げてください。

ネットワーク機能

本機のマザーボード上には、1000 Base-T/100 Base-TX/10 Base-Tに対応したネットワーク機能（LAN 機能）が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。

ネットワーク機能を使用する場合は、本機背面の LAN コネクタ（) に市販の LAN ケーブルを接続します。



ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LAN ケーブルやハブ（サーバー）などが必要です。そのほかに、Windows 上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定なども必要になります。

ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。

！ 制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態になると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - 再起動する
 - 省電力状態に移行しないように設定する
 p.64 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。
- 本機のネットワーク機能では、リピーター・ハブを使用できません。

インターネットへの接続

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

そのほかの機能

本機では、ネットワークを構築して接続環境を整えると、次の機能を使用できます。

- Wakeup On LAN  p.53
- リモートブート  p.55

Wakeup On LAN

Wakeup On LAN を使用すると、ネットワークからの信号により本機を起動することができます。



制限

シャットダウン状態からの起動は、Windows を正常に終了した状態でないと行えません。

Wakeup On LAN を行う場合は、次の設定が必要です。

シャットダウン状態から起動させたい場合

- UEFI の設定変更
- シャットダウン設定の変更

スリープ、休止状態から起動させたい場合

- UEFI の設定変更
- ネットワークアダプターの設定変更

UEFI の設定変更

「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目を有効にしてください。

「Power」メニュー画面－「APM Configuration」

「Wake On LAN」：Enabled（有効）

 p.83 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.98 「Power メニュー画面」

シャットダウン設定の変更

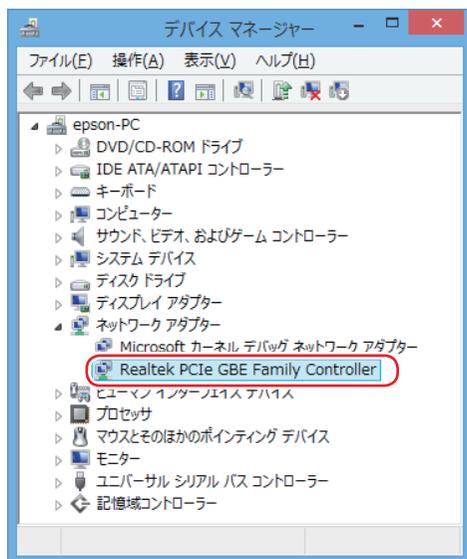
シャットダウン設定を変更する方法は、次のとおりです。

- 1** 画面左下隅で右クリック－「電源オプション」－「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。
- 2** 「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」と表示されたら、「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックし、「シャットダウン設定」項目の「高速スタートアップを有効にする」のチェックを外して、「変更の保存」をクリックします。
これで、設定は完了です。

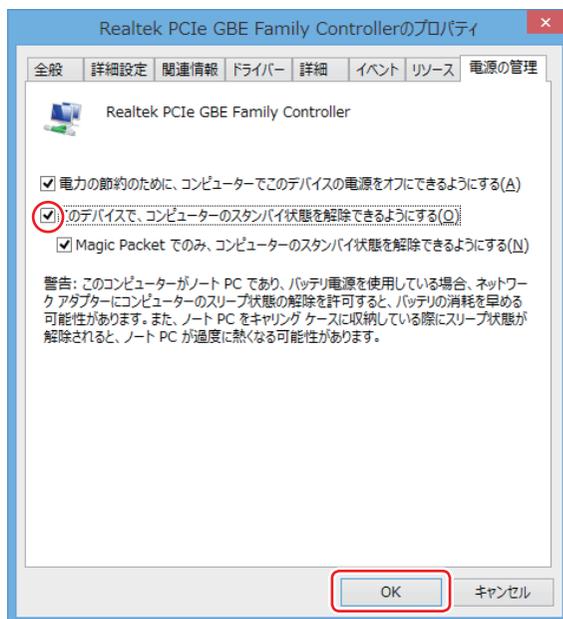
ネットワークアダプターの設定変更

ネットワークアダプターの設定を変更する方法は、次のとおりです。

- 1 画面左下隅で右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。
- 2 「デバイスマネージャー」画面が表示されたら、「ネットワークアダプター」をダブルクリックし、「Realtek PCIe GBE Family Controller」をダブルクリックします。



- 3 「Realtek PCIe GBE Family Controller のプロパティ」画面が表示されたら、「電源の管理」タブをクリックします。
- 4 「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックを入れて [OK] をクリックします。



5  をクリックし、開いている画面をすべて閉じます。

これで、設定は完了です。



参考

Wakeup On LAN を設定している場合

UEFI の設定で、「Wake On LAN」が有効に設定されているときに、電源コードを抜き、再び接続するとコンピューターが一瞬起動する場合があります。これは、不具合ではありません。

リモートブート

リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー上から Windows をインストールすることができます。

インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。

ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。

Windows を最新の状態にするため、Windows Update を行ってください。

自動更新の設定

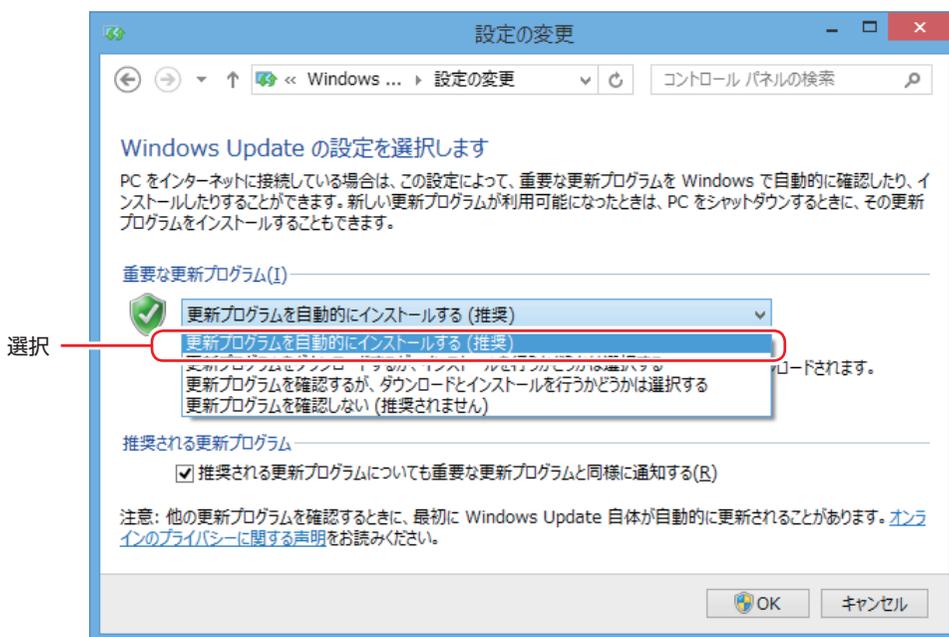
本機を使用する際は、自動で Windows Update が行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムのダウンロードとインストールが自動で行われます。

初期状態では、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

自動更新の設定は、次の場所で行います。

画面左下隅で右クリック - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティー」 - 「Windows Update」 - 「設定の変更」



セキュリティーアプリ

インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セキュリティーアプリを必ず使用してください。

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を使う

本機には、ファイアウォールやウイルス対策機能を備えた「マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版」が添付されています。

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版のインストール

購入時、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版はインストールされていません。

使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

チャームを表示 - 「検索チャーム」 - 「おすすめアプリケーションのインストール」

市販のセキュリティーアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版をインストールしないでください。

マカフィー・PC セキュリティセンターのユーザー登録

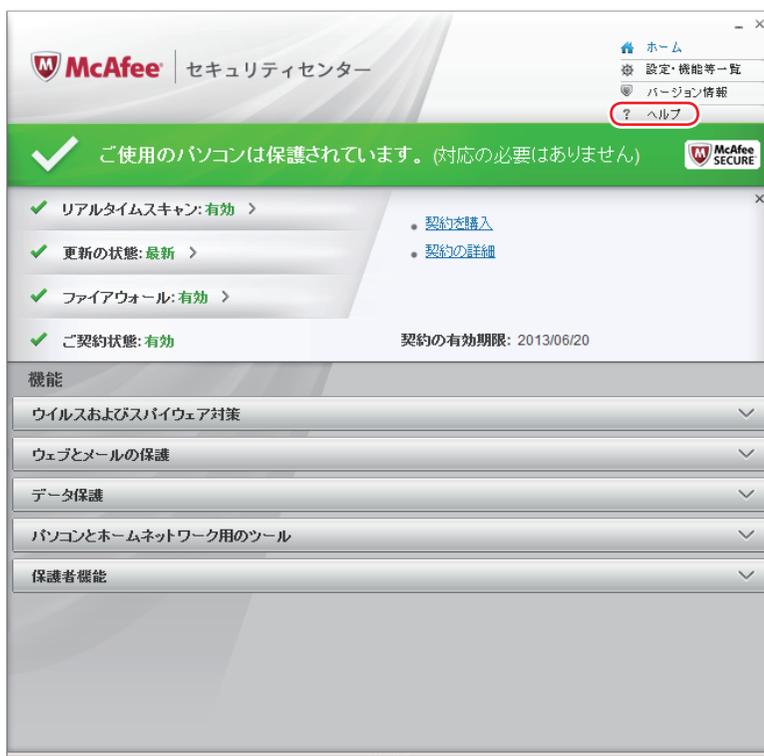
マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を使用するには、ユーザー登録が必要です。インターネットに接続後、デスクトップ通知領域の McAfee アイコン () をダブルクリックして、ユーザー登録を行ってください。



ユーザー登録を行わないと、製品の更新ができません。また、サポートセンターへの問い合わせにもユーザー登録が必要です。登録しないまま 2 週間以上経過すると、自動更新が停止し、最新のセキュリティーで保護されなくなります。

マカフィー・PC セキュリティセンターの使用方法

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の使用方法は、「ヘルプ」をご覧ください。



Windows のセキュリティー機能の設定

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版には Windows のセキュリティー機能と同等の機能が備えられています。マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版がインストールされていると、次の Windows の機能は「無効」に設定されます。

- Windows ファイアウォール
- Windows Defender

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の機能によりコンピューターのセキュリティーは守られていますので、Windows の機能は「無効」のままお使いください。

マカフィー・PC セキュリティセンターを一時的に無効にするには

お使いのアプリなどで、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を「無効」にするよう指示があった場合は、一時的にマカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の機能を「オフ」にします。手順は、「ヘルプ」で確認してください。機能を「オフ」にすると、セキュリティーが確保されなくなります。安全を十分に確認した上で設定し、作業が終わったら、必ず「オン」に戻してください。

マカフィー・PC セキュリティセンターのアンインストール

市販のセキュリティアプリを使用する場合や、お使いのアプリなどで指示があった場合には、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版をアンインストールします。アンインストール方法は、次のとおりです。

- 1** 画面左下隅で右クリック「プログラムと機能」をクリックします。
- 2** 「プログラムのアンインストールまたは変更」と表示されたら、「マカフィーセキュリティセンター」を選択して「アンインストールと変更」をクリックします。
- 3** 「マカフィーソフトウェアを削除」と表示されたら、削除するプログラムを選択し、「削除」をクリックします。
- 4** 「有効な契約が残っています。」と表示されたら、内容を確認し、「削除」をクリックします。
- 5** 「ソフトウェアが削除されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。
コンピューターが再起動したら、アンインストールは完了です。

90 日期間限定版（無料体験版）が期限切れしたら

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版には、一定の有効期間（製品使用開始から 90 日間）が設定されています。

有効期限が切れた場合は、定義ファイルの更新やアプリの自動バージョンアップが行われなくなるため、最新のウイルスやスパイウェアなどの脅威に対応することができなくなり、大変危険です。

90 日期間限定版の有効期限が切れた場合は、有効期限の継続手続きを行うことをおすすめします。更新は有償になります。

更新手続きを行うことにより、最新の脅威に対応できるようになります。

マカフィー製品のサポート

正しく動作しない場合など、マカフィー製品に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

● マカフィー・インフォメーションセンター

マカフィー製品購入前のマカフィー製品に関するお問い合わせ

マカフィー・サポート Web

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

お問い合わせ Web フォーム

http://www.mcafee.com/japan/home/msup/information_center.asp

電話ナビダイヤル : 0570-010-220

IP 電話、光電話の場合: 03-5428-1899

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く)

- マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

対応内容登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など

マカフィー・サポート Web

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

お問い合わせ Web フォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_cswebform.asp

電話ナビダイヤル : 0570-030-088

IP 電話、光電話の場合: 03-5428-1792

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く)

- マカフィー・テクニカルサポートセンター

対応内容アプリの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ

マカフィー・テクニカルサポートセンター Web

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_ts.asp

マカフィー・チャットサポート

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp>

お問い合わせ Web フォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/pre_ts.asp

電話ナビダイヤル : 0570-060-033

IP 電話、光電話の場合: 03-5428-2279

受付時間 9:00 ~ 21:00 (年中無休)

(FAX によるお問い合わせは受け付けておりません)

市販のセキュリティーアプリを使う

市販のセキュリティーアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版をアンインストール (削除) してください。

 p.59 「マカフィー・PC セキュリティセンターのアンインストール」

Webフィルタリングアプリ

Web フィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Web フィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

i-フィルター 30 日版を使う

本機には、Web フィルタリング機能を持つ「i-フィルター 30 日版」が添付されています。家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへアクセスするのを制限したいときなどは、i-フィルター 30 日版を使用することをおすすめします。

i-フィルター 30 日版のインストール

購入時、i-フィルター 30 日版はインストールされていません。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

チャームを表示 - 「検索チャーム」 - 「おすすめアプリケーションのインストール」

市販の Web フィルタリングアプリを使用する場合は、アプリ同士の競争を防ぐため、i-フィルター 30 日版はインストールしないでください。

i-フィルター 30 日版のユーザー登録

i-フィルター 30 日版を使用するには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録はインターネットに接続した状態で行います。スタート画面の [i-フィルター] をクリックし、表示された画面の指示に従って、ユーザー登録を行ってください。



i-フィルター 30 日版の使用方法

i-フィルター 30 日版をインストールすると、フィルター設定が有効になり、有害サイトへのアクセスが自動的にブロックされます。

初期設定では、フィルター強度は「ファミリー」です。フィルター強度は、利用者別に設定できます。必要に応じて、「フィルタリング設定」画面で設定を変更してください。

「フィルタリング設定」画面の表示方法は、次のとおりです。

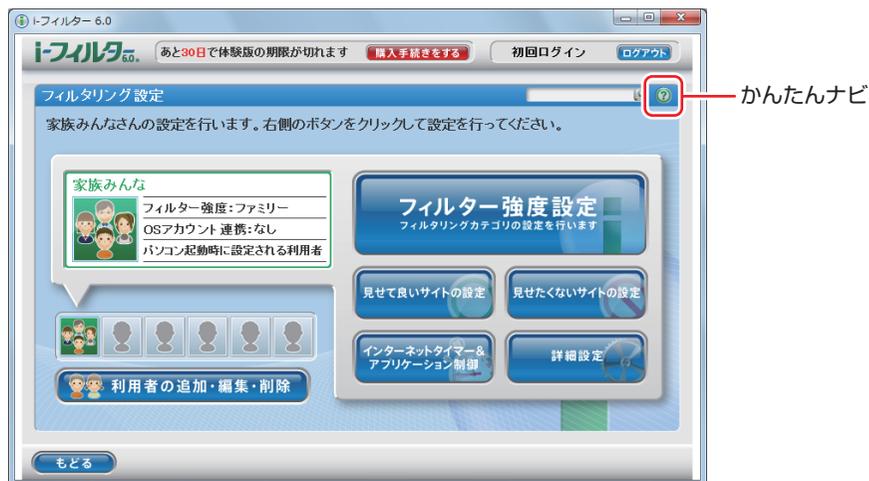
- 1** スタート画面の [i-フィルター] をクリックします。
- 2** ログイン画面が表示されたら、E-Mail アドレスと管理パスワードを入力して [ログイン] をクリックします。



3 i-フィルター のトップページが表示されたら、「フィルタリング設定」をクリックします。

「フィルタリング設定」画面が表示されます。

i-フィルター 30 日版の詳しい使用法は、「かんたんナビ」をご覧ください。



参考

ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は

セキュリティアプリのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター 30 日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。

この場合は、「i-フィルター 30 日版」の使用を許可してください。

i-フィルター 30 日版のサポート

i-フィルター 30 日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。

よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。

なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

省電力機能

ここでは、本機の省電力機能について説明します。

省電力状態

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - ・ 周辺機器を接続している
 - ・ アプリを起動している
- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
 p.64 「時間経過で移行させない」
 - ・ 光ディスクメディアへの書き込み時：書き込みに失敗する可能性
 - ・ サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
 - ・ 外部接続記憶装置（USB HDD など）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
 - ・ ネットワーク機能を使っでの通信時：通信が切断される可能性
 - ・ 動画再生時：コマ落ちしたりアプリの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - ・ 省電力状態で周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - ・ ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
 - ・ 再起動する
 - ・ 省電力状態に移行しないように設定する
 p.64 「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- ディスプレイの電源を切る
省電力の効果はスリープより低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。
- スリープ
作業中の内容を一時的に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

● 休止状態

作業内容をHDDに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

省電力状態に移行する方法

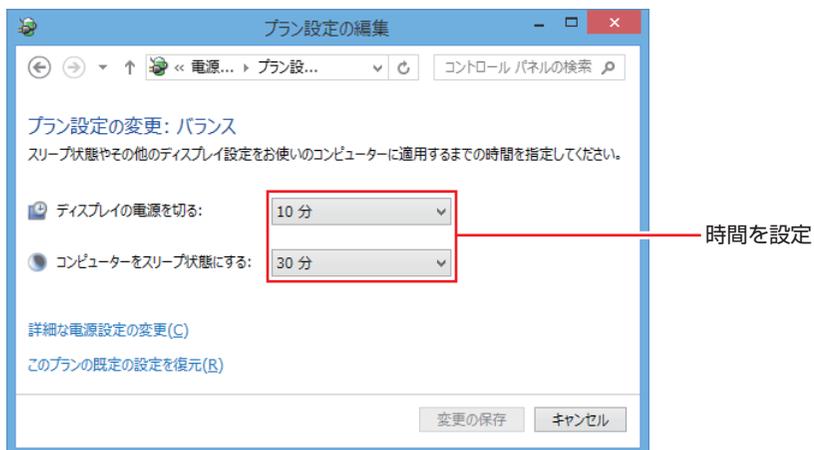
本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープになります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

画面左下隅で右クリック－「電源オプション」－各プランの「プラン設定の変更」



時間経過で移行させない

光ディスクメディアなどに書き込みを行う場合は、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間をすべて「なし」に設定してください。

直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

| 操作 | 省電力状態の種類 |
|--------------------------------|------------|
| チャームを表示－「設定チャーム」－[電源]から項目を選択する | スリープ、休止状態* |

*購入時は表示されません。表示させるには、次の設定を行います。

画面左下隅で右クリック－「電源オプション」－「電源ボタンの動作を選択する」－「現在利用可能ではない設定を変更します」－「シャットダウン設定」の「休止状態」にチェック－[変更の保存]をクリック

電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプ（）で確認できます。

| 電源の状態 | 電源ランプの表示 |
|--------------|----------|
| 通常 | 点灯（緑色） |
| ディスプレイの電源切 | 点灯（緑色） |
| スリープ | 点滅（緑色） |
| 休止状態 | 消灯 |
| シャットダウン（電源切） | 消灯 |

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

| 省電力状態 | 電源ランプの表示 | 復帰方法 |
|------------|----------|---|
| ディスプレイの電源切 | 点灯（緑色） | マウスやキーボードを操作する |
| スリープ | 点滅（緑色） | <ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを押す● USB キーボードを操作する● USB マウスでクリックする |
| 休止状態 | 消灯 | 電源スイッチを押す |

Endeavor 電源プラン設定ツール

本機には節電設定を行うための「Endeavor 電源プラン設定ツール」が添付されています。Endeavor 電源プラン設定ツールでは、3つのおすすめ電源プランや、お客様ご自身で新規に作成するプランの中から、使い方に合った節電プランを設定することができます。詳しくは、次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 21091

インストール

Endeavor 電源プラン設定ツールを使用するには、インストールが必要です。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

チャームを表示 - 「検索チャーム」 - 「おすすめアプリケーションのインストール」

プランの変更方法

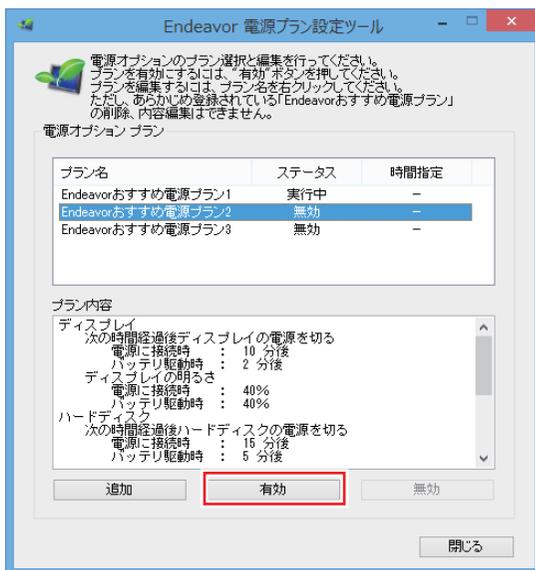
Endeavor 電源プラン設定ツールをインストールすると、「Endeavor おすすめ電源プラン1」が有効になります。必要に応じて、「Endeavor 電源プラン設定ツール」画面で設定を変更してください。

変更方法は、次のとおりです。

- 1 スタート画面の [Endeavor 電源プラン設定ツール] をクリックします。



- 2 変更したいプランを選んで [有効] をクリックします。



おすすめプランの内容や新規プラン作成方法は、次の場所をご覧ください。

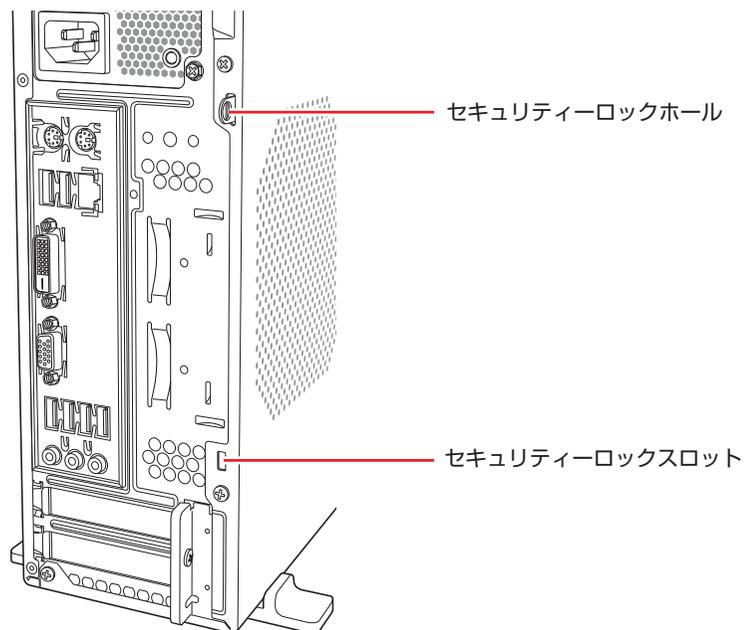


[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 21091

その他の機能

セキュリティーロックスロット/セキュリティーロックホール

本機背面には、セキュリティーロックスロットとセキュリティーロックホールが搭載されています。セキュリティーロックスロットには盗難抑止ワイヤー（セキュリティーロック）を、セキュリティーロックホールには 6mm 以下の軸径の南京錠を取り付けることができます。



当社では、セキュリティーロックスロットやセキュリティーロックホールに取り付けるセキュリティー・デバイスを取り扱っています。詳しくは当社のホームページをご覧ください。ホームページのアドレスは、次のとおりです。

<http://shop.epson.jp/>



2

装置の増設・交換

装置の増設・交換方法について説明します。

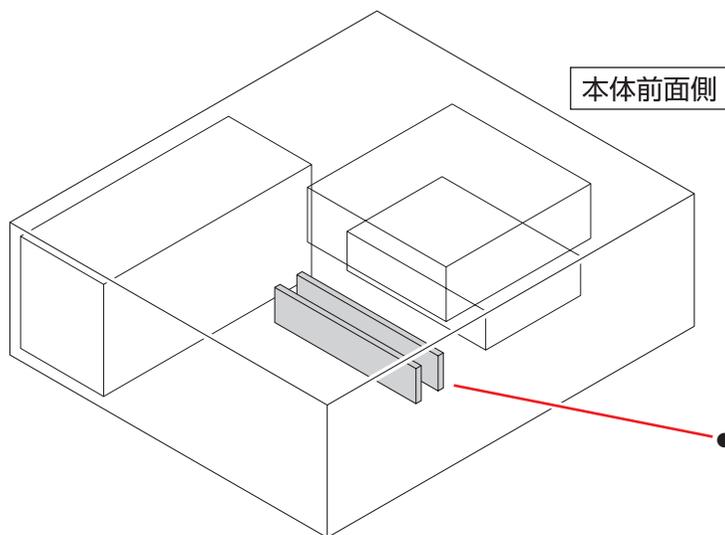
| | |
|------------------|----|
| 増設・交換できる装置 | 70 |
| メモリーの装着 | 71 |

増設・交換できる装置

本機では、メモリーを増設・交換することができます。



マニュアルで方法を記載していない装置の増設・交換は行わないでください。
故障の原因となります。



本体前面側

- メモリスロット
メモリーを2枚装着できます。
 p.71 「メモリーの装着」

アップグレードサービスについて

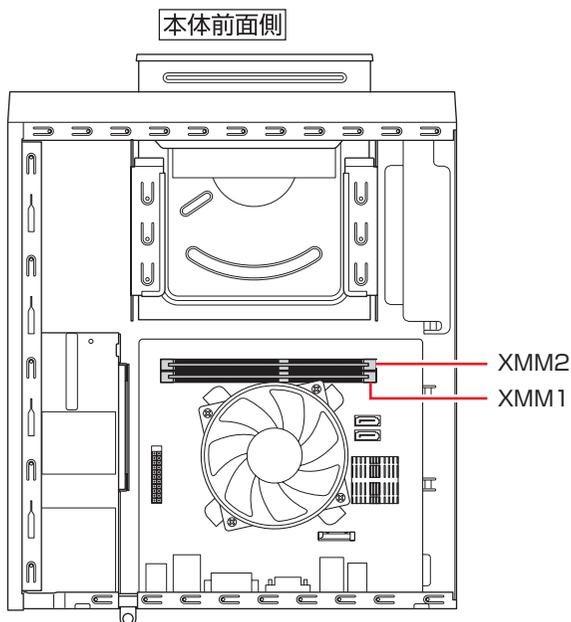
当社では、本機をお預かりしてメモリーの増設・交換を行うアップグレードサービスを有償で行っています。

アップグレードサービスをご希望の場合は、カスタマーサービスセンターにご相談ください。カスタマーサービスセンターの連絡先は、 別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、メモリーの取り付け・取り外し方法について説明します。本機にはメモリスロットが2本あり、メモリーを最大8GBまで増設・交換することができます。

マザーボード上のメモリスロットの位置は、次のとおりです。



メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

- PC3-12800 (DDR3-1600 SDRAM 使用)
- メモリー容量 2GB、4GB
- Non ECC
- 240ピン
- CL=11

最新メモリー情報

今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それにともない、最大搭載可能容量が変更になることがあります。メモリーの最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

<http://shop.epson.jp/>



[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 23683

メモリー装着の組み合わせ

本機はデュアルチャンネルに対応しているため、同一容量のメモリーを2枚1組で装着すると、データ転送速度のパフォーマンスが最大になります。

メモリー装着の組み合わせとメモリーの動作は、次のとおりです。

| メモリー装着の組み合わせ | メモリーの動作 |
|--------------|------------------------|
| 同一容量のメモリー2枚 | デュアルチャンネルで動作。転送速度最大。 |
| メモリー1枚 | 通常の転送速度で動作（シングルチャンネル）。 |

メモリー取り付け・取り外し時の注意

メモリーの取り付け・取り外しをする場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。



警告

- メモリーの取り付け・取り外しをするときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。



警告

- メモリーの取り付け・取り外しは、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- メモリーの切り欠きとメモリースロット内の仕切りは、確実に合わせてください。
メモリーの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。

メモリーの取り付け・取り外し

メモリーの取り付け・取り外し方法は、次のとおりです。

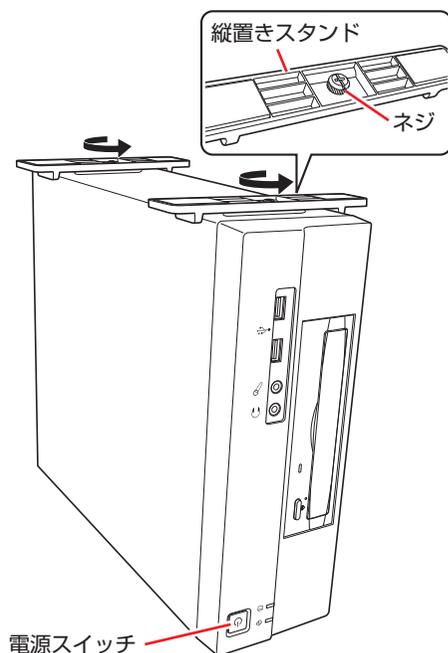
取り付け

メモリーの取り付け方法は次のとおりです。

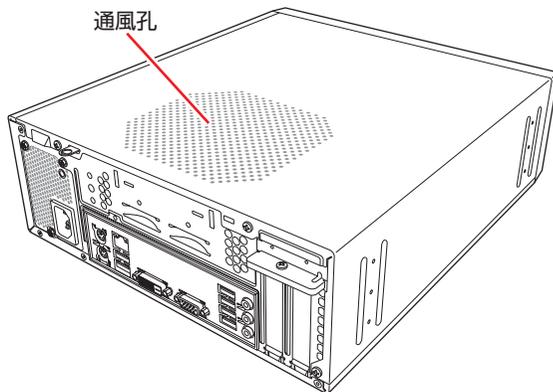
- 1** 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。
増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。
通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。
 - 1 チャームを表示→「設定チャーム」→「電源」で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
 - 2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。

作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで 10 分以上放置してください。

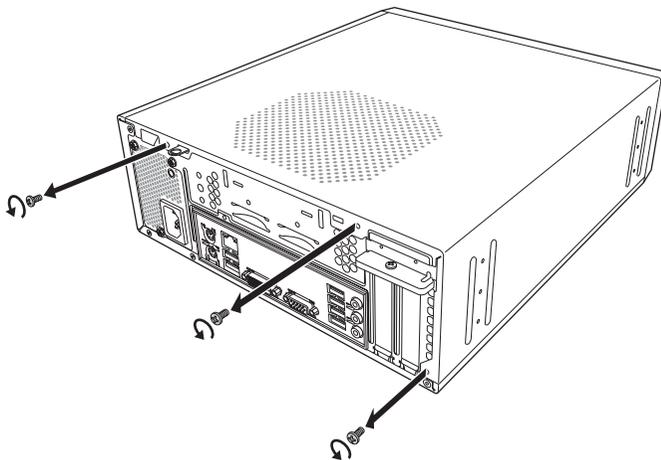
- 2** 本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3** 本機を縦置きで使用している場合、電源スイッチ側を下にして置き、ネジをゆるめてから縦置きスタンドを取り外します。



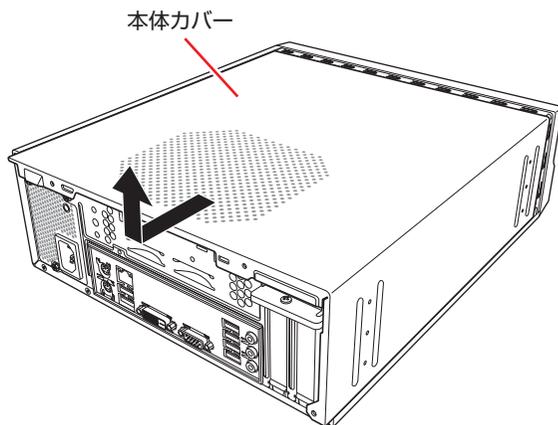
- 4** 通風孔がある側面が上になるように、本体を横置きします。



- 5** 本機背面のネジ (3本) を外します。

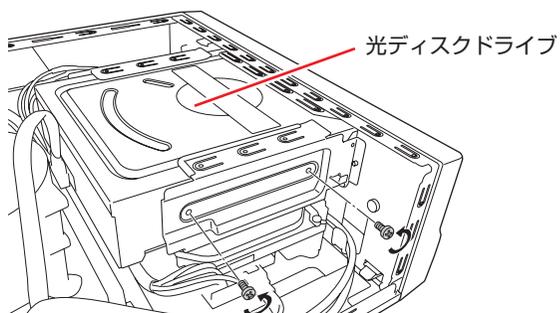


- 6** 本体カバーを背面側にスライドさせ、上へ持ち上げて取り外します。

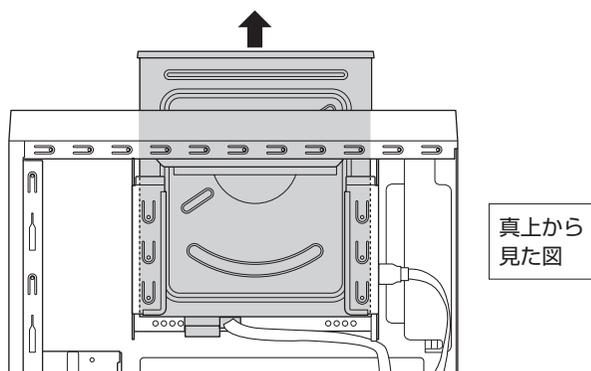


7 作業の妨げになる光ディスクドライブを一旦ずらします。

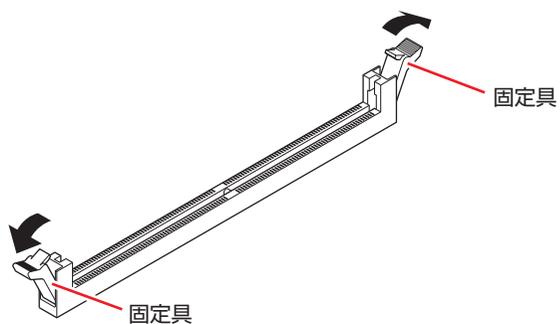
- ① 光ディスクドライブ側面のネジ（2本）を外します。



- ② 光ディスクドライブを前面側へ少しずらしておきます。

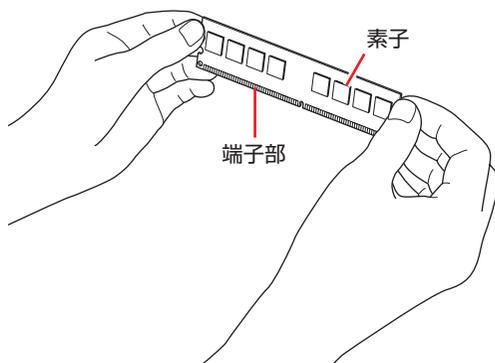


8 メモリスロット両端の固定具を開きます。



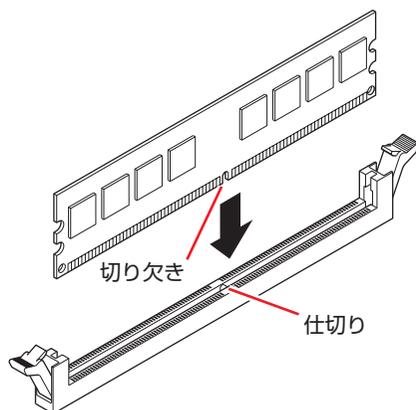
9 取り付けるメモリーを静電防止袋から取り出します。

メモリーの端子部や素子に触れないように注意します。



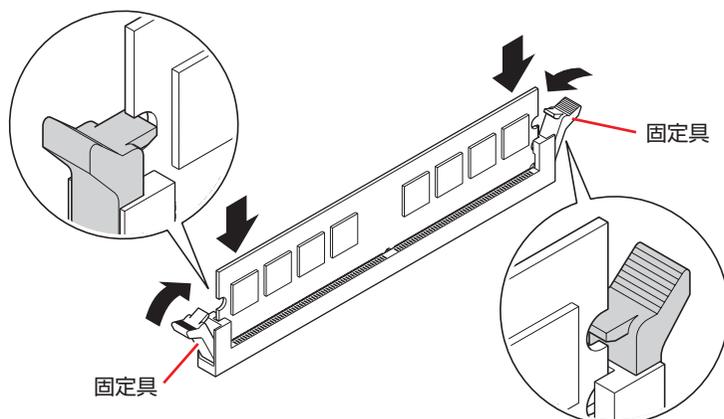
10 メモリスロットにメモリーを差し込みます。

- 1 メモリーの切り欠きをメモリスロット内の仕切りに合わせます。



メモリーの切り欠きとメモリスロット内の仕切りは、確実に合わせてください。メモリーの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。

- ② メモリーを押し込むと、カチッと自動的に固定具が閉じてメモリーが固定されます。
メモリスロット両端の固定具が確実に閉じて、メモリーが固定されたことを必ず確認してください。



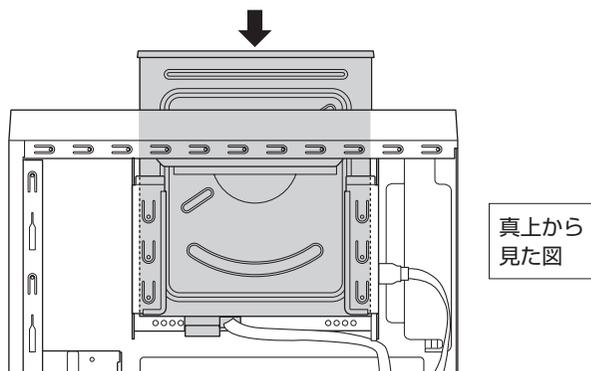
制限

固定具が確実に閉じていない場合、メモリーがしっかりと固定されていない可能性があります。
再度、メモリーの向きを確認し、固定具が確実に閉じるまで、しっかりとメモリーを押し込んでください。

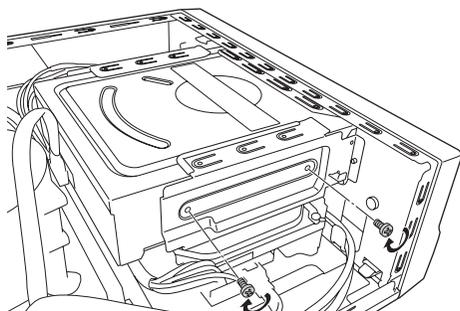
11

7 でずらした光ディスクドライブを元に戻します。

- ① 光ディスクドライブを元の位置に戻します。

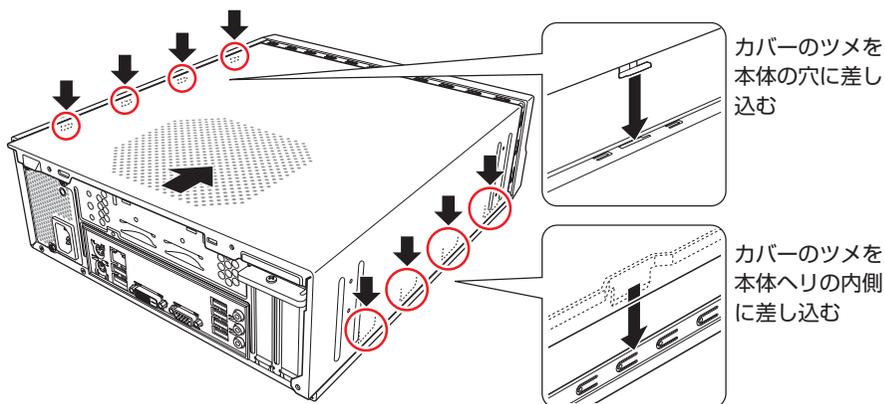


- ② 光ディスクドライブ側面にネジ（2本）を取り付けます。

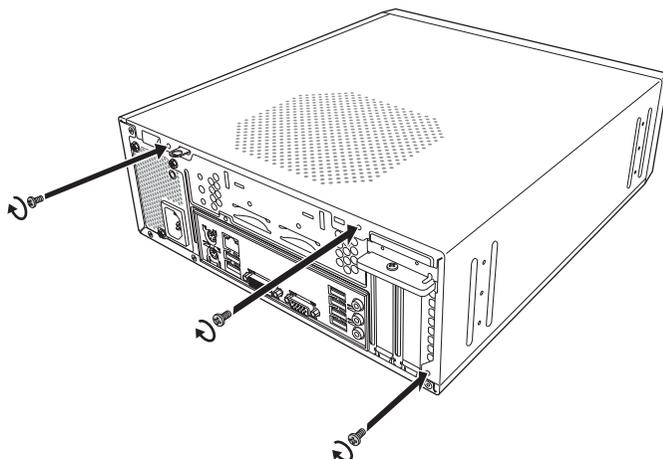


12 本体カバーを取り付けます。

- 1 本体カバーを本体にかぶせます。
- 2 本体カバーを本体前面側にスライドさせます。



13 ネジ（3本）で本機背面と本体カバーを固定します。



14 縦置きで使用する場合は、縦置きスタンドを取り付けます。

15 2 で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

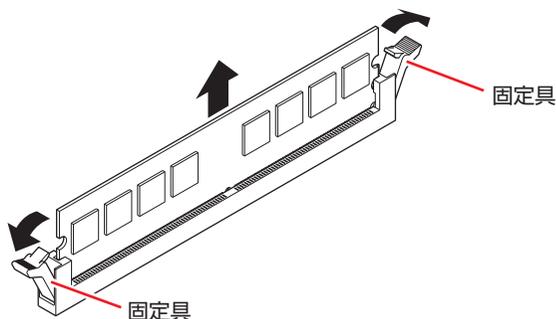
16 本機の電源を入れて、メモリーの容量を確認します。

 p.79 「メモリー取り付け・取り外し後の作業」

取り外し

メモリーの取り外しは、 p.75 「取り付け」の 8 ~ 10 を次の手順に読み替えて行ってください。

- 1 メモリーの両端を固定している固定具を開きます。



- 2 メモリーが外れたら静かに取り外します。
静電気防止袋に入れて保管してください。
- 3 メモリーを取り付けない場合は、固定具を閉じておきます。

メモリー取り付け・取り外し後の作業

メモリーの取り付け・取り外しをしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリー容量を確認します。

メモリー容量の確認方法は次のとおりです。

- 1 本機を再起動し、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに **[Delete]** を「トン、トン、トン…」と連続的に押して「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。
- 2 「Main」メニュー画面 - 「System Information」 - 「Memory Information」 - 「Installed Memory」に表示されているメモリー容量を確認します。
- 3 **[F10]** を押して UEFI Setup ユーティリティを終了します。
2 でメモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリーを正しく取り付けなおしてください。



3

UEFI の設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「UEFI」の設定を変更する方法について記載しています。

| | |
|-------------------------------|----|
| UEFI の設定を始める前に..... | 82 |
| UEFI Setup ユーティリティーの操作..... | 83 |
| UEFI Setup ユーティリティーの設定項目..... | 95 |

UEFI の設定を始める前に



制限

当社製以外の UEFI を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対に行わないでください。

UEFI は、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

UEFI の設定は「UEFI Setup ユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。UEFI の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

UEFI の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

UEFI Setup ユーティリティで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。



参考

リチウム電池の寿命

UEFI Setup ユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約 3 年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してください。

 p.120 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。

 p.88 「Load Setup Defaults (UEFI の初期値に戻す)」

 p.88 「Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)」

 p.89 「Load Setup User Define (ユーザーの初期設定値に戻す)」

UEFI Setup ユーティリティの操作

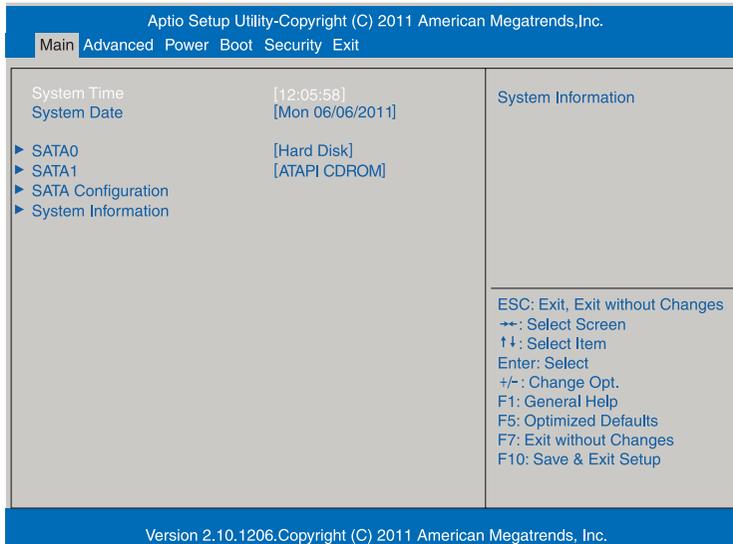
ここでは、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- ユーザーの設定値を保存する
- パスワードを設定する
- HDD アクセス制限

UEFI Setupユーティリティの起動

本機を再起動する前に、キーボードの **Delete** の位置を確認してください。**2** では、すばやく **Delete** を押す必要があります。

- 1** 本機を再起動します。
- 2** 再起動後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに **Delete** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
Windows が起動してしまった場合は、再起動して **2** をもう一度実行してください。
- 3** 「UEFI Setup ユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。



< UEFI Setup ユーティリティ画面（イメージ） >

仕様が前回と異なるとき

本機の状態が、前回使用していたときと異なる場合は、本機の電源を入れたときに、次のメッセージが表示されることがあります。

CMOS Checksum Bad
Press F1 to Run SETUP
Press F2 to load default values and continue

このメッセージが表示されたら **[F1]** を押して UEFI Setup ユーティリティを起動します。通常は、そのまま「Exit & Save Changes」を実行して UEFI Setup ユーティリティを終了します。

 p.87 「UEFI Setup ユーティリティの終了」

※「Security」メニュー画面の「Secure Boot」項目が [Enabled] になっていることを確認してください。[Enabled] に設定されていないと、Windows 8 が起動できなくなります。

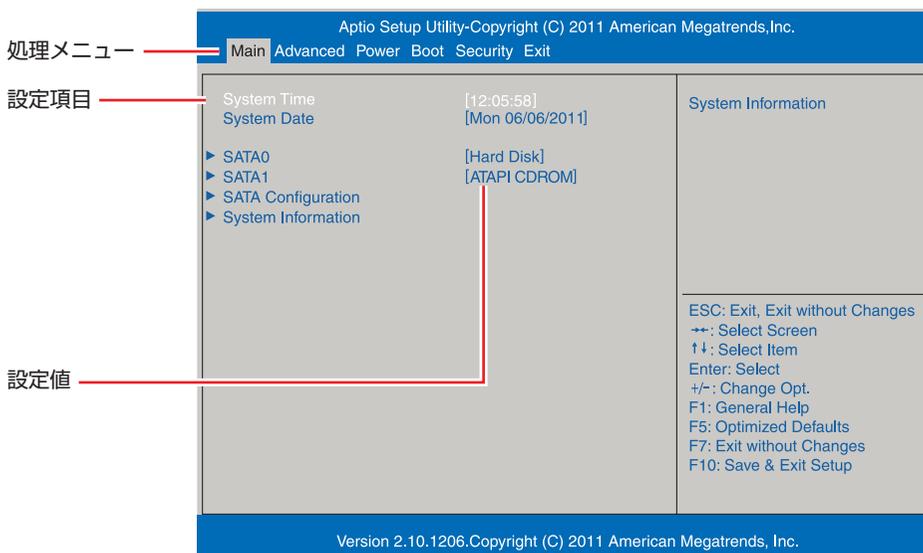
UEFI Setupユーティリティの操作

「UEFI Setup ユーティリティ」の操作は、キーボードで行います。

ここで説明している画面は、イメージです。実際の設定項目とは異なります。各メニュー画面と設定項目の説明は、 p.95 「UEFI Setup ユーティリティの設定項目」をご覧ください。

画面の構成

UEFI Setup ユーティリティを起動すると次の画面が表示されます。この画面で設定値を変更することができます。



<メニュー画面>

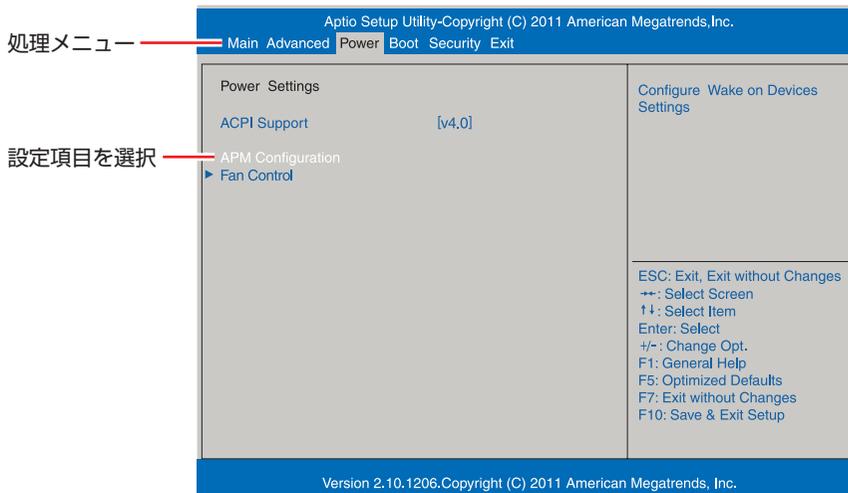
操作方法

UEFI Setup ユーティリティの操作方法是次のとおりです。

- 1 変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択し、設定項目を選択します。

→ ← でメニュー間を移動します。

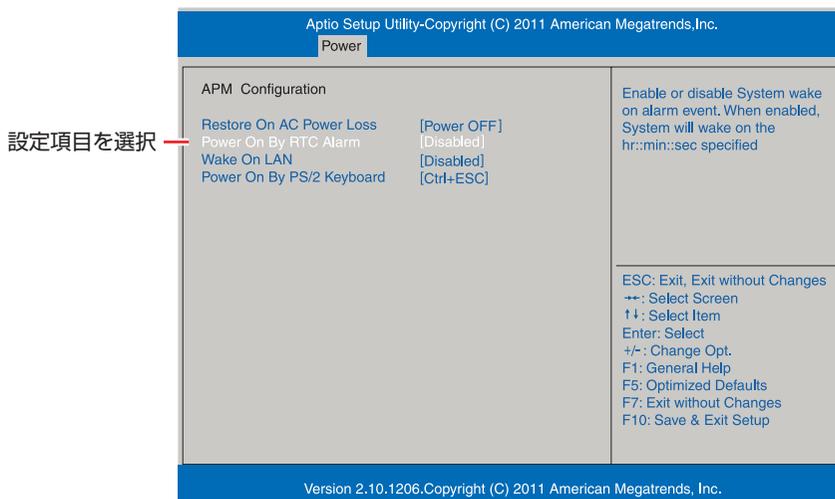
↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



<メニュー画面>

▶ のある項目の場合

▶ のある項目の場合、← を押すとサブメニュー画面が表示されます。↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



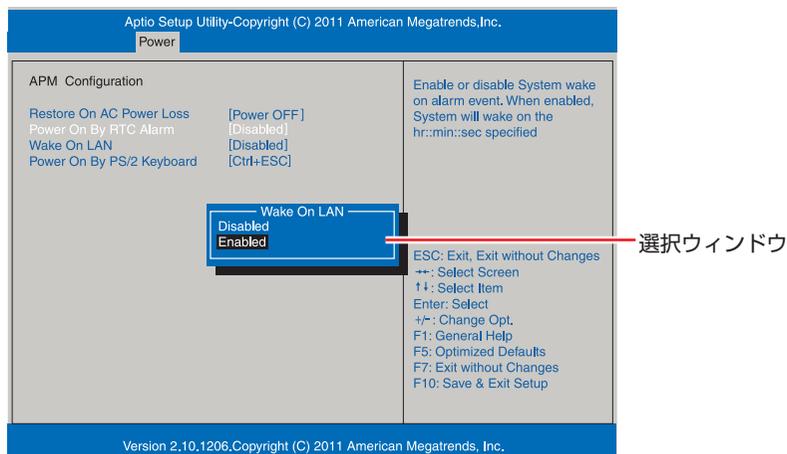
<サブメニュー画面>

サブメニュー画面から戻るには Esc を押します。



2 設定値を変更します。

◀ を押して選択ウィンドウを表示し、↑ ↓ で値を選択し ◀ で決定します。



キー操作

UEFI の画面を操作するときは、次のキーを使用します。

| キー | 操作できる内容 |
|------|--|
| Esc | <ul style="list-style-type: none">変更した内容を破棄し、終了します。サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。 |
| ↑, ↓ | 設定を変更する項目を選択します。 |
| ←, → | 処理メニューを選択します。 |
| -, + | 項目の値を変更します。 |
| ◀ | <ul style="list-style-type: none">メニュー画面中の ▶ のある項目で押すとサブメニュー画面を表示します。選択項目の選択ウィンドウを表示します。設定値を選択します。 |
| F1 | ヘルプを表示します。 |
| F5 | 全設定項目の値を、UEFI の初期値に戻します。 |
| F7 | 変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。 |
| F10 | 変更した設定値を保存して終了します。 |

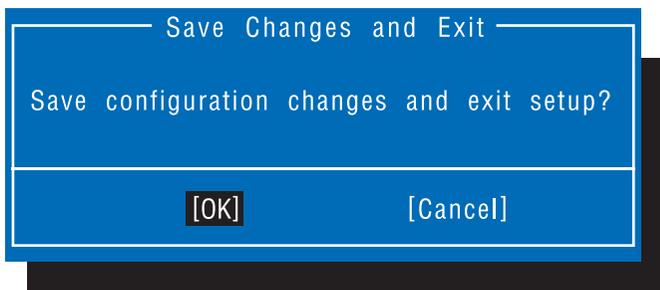
UEFI Setupユーティリティの終了

「UEFI Setup ユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

Exit & Save Changes（変更した内容を保存し終了する）

変更した設定値を保存して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **[F10]** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Exit & Save Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

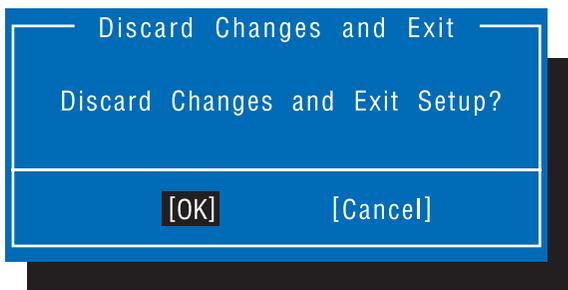


- 2 **[OK]** を選択し、**[Enter]** を押します。
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

Exit & Discard Changes（変更した内容を破棄し終了する）

変更した設定値を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **[Esc]** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Exit & Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。



- 2 **[OK]** を選択し、**[Enter]** を押します。
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

設定値を元に戻す

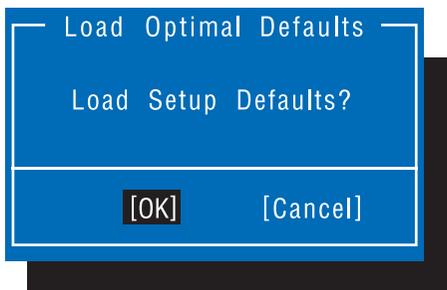
「UEFI Setup ユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値をUEFIの初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Setup Defaults (UEFIの初期値に戻す)

設定値をUEFIの初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※「Security」メニュー画面の項目をUEFIの初期値に戻すことはできません。

- 1 **F5** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

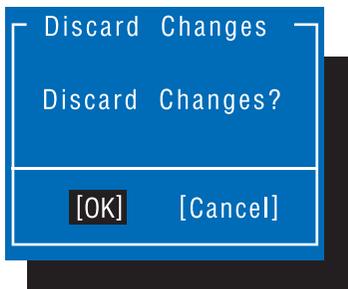


- 2 **OK** を選択し、**Enter** を押します。
これで設定値が「UEFIの初期値」に戻ります。

Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 **F7** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。



- 2 **OK** を選択し、**Enter** を押します。
これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

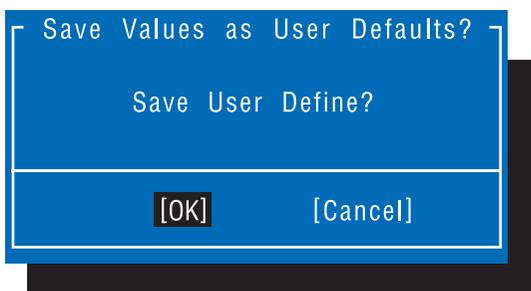
ユーザー設定値を保存する

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定値を変更した場合、その状態を「ユーザー設定値」として保存しておくことができます。ユーザー設定値を保存しておく、「Load Setup Defaults」やリチウム電池の脱着を行って、設定値が「UEFIの初期値」になってしまった場合などに、「ユーザー設定値」に戻すことができます。

Save User Define (ユーザー設定値を保存する)

設定値を「ユーザー設定値」として保存する方法は、次のとおりです。

- 1 UEFI Setup ユーティリティの設定値を変更します。
- 2 「Exit」メニュー画面－「Save User Define」を選択すると、次のメッセージが表示されます。



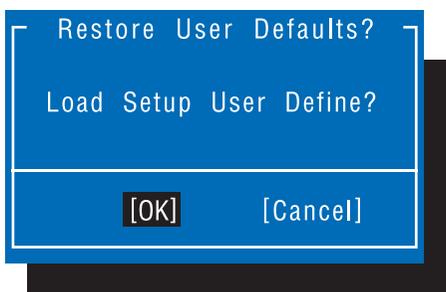
- 3 [OK] を選択し、 を押します。
これで設定値が保存されます。

Load Setup User Define (ユーザーの初期設定値に戻す)

設定値を「ユーザー設定値」に戻す方法は、次のとおりです。

※ 「Save User Define」で設定値を保存後、実行可能になります。

- 1 「Exit」メニュー画面－「Load Setup User Define」を選択すると、次のメッセージが表示されます。



- 2 [OK] を選択し、 を押します。
これで設定値が「ユーザー設定値」に戻ります。

パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でパスワードを設定すると、UEFI や Windows の起動時にパスワードを要求されるようになります。

パスワードの設定は、次のような場合に行います。

- 本機を使用するユーザーを制限したいとき
- パスワードを設定しないと使用できない機能を使いたいとき
(HDD アクセス制限など)

パスワードの種類

パスワードには次の2種類があります。

- Supervisor Password (管理者パスワード)
コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードでUEFIにログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。
- User Password (ユーザーパスワード)
一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードでUEFIにログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます(権限は、設定変更することができます)。
 p.91 「ユーザーパスワードの権限設定」

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法を説明します。



設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、UEFIの設定変更や、設定によってはWindowsの起動ができなくなります。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードやHDDアクセス制限などが設定できるようになります。

- 1 「Security」メニュー画面－「Change Supervisor Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter New Password

2 パスワードを入力し、を押します。

「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは 8 文字まで入力可能です。

パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。

3 続いて次のメッセージが表示されます。確認のためにもう一度同じパスワードを入力し、を押します。

| |
|----------------------|
| Confirm New Password |
|----------------------|

同じパスワードを入力しないと、「Invalid Password」というメッセージが表示されます。[OK] が選択された状態で  を押すと、UEFI のメニュー画面に戻ります。この場合、**1** からやりなおしてください。

4 次のメッセージが表示されたら、[Ok] が選択された状態で を押します。

| |
|--------------------|
| Password Installed |
| Ok |

これでパスワードの設定は完了です。
「Supervisor Password」項目の値が「Installed」に変わります。

パスワード入力タイミングの設定

UEFI Setup ユーティリティ起動時や、Windows 起動時など、どのタイミングでパスワードを要求するかを設定します。

 p.100 「Security メニュー画面」 - 「Password Check」

ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードは、 p.90 「管理者パスワードの設定」 - **1** で「Change User Password」を選択し、管理者パスワードと同様の手順で設定します。

ユーザーパスワードの権限設定

ユーザーパスワードを設定した場合は、ユーザーパスワードで UEFI にログオンしたときの権限（項目の閲覧や変更に関する制限）を設定します。

 p.100 「Security メニュー画面」 - 「User Access Level」

パスワードの削除方法

パスワードの削除方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードでUEFIにログオンしてください。

※ HDD アクセス制限やユーザーパスワードを設定している場合、管理者パスワードを削除すると、自動的にHDD アクセス制限やユーザーパスワードも削除（解除）されます。

- 1 「Security」メニュー画面－「Change Supervisor Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

| |
|--------------------|
| Enter New Password |
|--------------------|

- 2 何も入力せずに  を押すと、次のメッセージが表示されます。

| | |
|-------------------------------|----------|
| WARNING | |
| Clear Old Password. Continue? | |
| [OK] | [Cancel] |

- 3 [OK] が選択された状態で  を押します。

- 4 次のメッセージが表示されたら、[Ok] が選択された状態で  を押します。

| |
|--------------------|
| Password Installed |
| Ok |

「Supervisor Password」の表示が「Not Installed」に変わります。

これで管理者パスワードが削除されました。

ユーザーパスワードやHDD アクセス制限を設定している場合は、「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わり、「Hard Disk Protection」項目は [Disabled] になります。

HDDアクセス制限

HDD アクセス制限を設定すると、次の状態になります。

- UEFI や Windows 起動時、休止状態からの復帰時にパスワードを要求される
- HDD をほかのコンピューターに接続した場合、認識されなくなる

HDD への無断アクセスや、万が一 HDD が盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、HDD アクセス制限を設定します。

HDD アクセス制限の設定 / 解除方法

HDD アクセス制限の設定 / 解除方法を説明します。

制限

- パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定した HDD は使用できなくなります。登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。
- HDD を増設・交換する際は、HDD へのアクセス制限を解除した状態で行ってください。

設定方法

HDD アクセス制限の設定方法は次のとおりです。

1 本機の電源を切ります。

一度電源を切らないと、HDD アクセス制限は正常に設定できません。
電源を切ってから設定を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。

- 1** チャームを表示－「設定チャーム」－「電源」で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
- 2** 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。

2 本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。

3 管理者パスワードを設定します。

 p.90 「パスワードの設定方法」

4 「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Enabled」に設定します。

 p.100 「Security メニュー画面」

5 UEFI Setup ユーティリティを終了します。

6 Windows が起動したら、本機の電源を切ります。

最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。
Windows を終了するときは、必ず **1** の方法で行ってください。

解除方法

HDD アクセス制限の解除方法は次のとおりです。

1 本機の電源を切ります。

一度電源を切らないと、HDD アクセス制限は解除できません。
電源を切ってから解除を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。

- 1 チャームを表示－「設定チャーム」－「電源」で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
- 2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。

2 本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。

3 「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Disabled」に設定します。

 p.100 「Security メニュー画面」

4 UEFI Setup ユーティリティを終了します。

5 Windows が起動したら、本機の電源を切ります。

最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。
Windows を終了するときは、必ず **1** の方法で行ってください。

UEFI Setup ユーティリティの設定項目

ここでは、「UEFI Setup ユーティリティ」で設定できる項目と、設定方法などについて説明します。UEFI Setup ユーティリティには、次の6つのメニューがあります。

- Main メニュー画面
日時やドライブの設定を行います。
- Advanced メニュー画面
CPU やマザーボード上のデバイスの設定を行います。
- Power メニュー画面
省電力機能や起動に関する設定を行います。
- Boot メニュー画面
システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。
- Security メニュー画面
セキュリティに関する設定を行います。
- Exit メニュー画面
UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻したりします。

Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日時やドライブの設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

 は初期値
*は項目表示のみ

| | |
|-------------|-------------------------|
| System Time | 時刻を設定します。(時間：分：秒) |
| System Date | 日付を設定します。(曜日 月 / 日 / 年) |

| | |
|--------------------|---|
| SATA 0 ~ 1 | 本機に搭載されているドライブの設定をします。 ※表示される詳細項目は、ドライブにより異なります。 |
| * Device | ドライブの種類 |
| * Model Name | ドライブの型番 |
| * F/W | ファームウェアのバージョン |
| * Size | HDD の容量 |
| * LBA Mode | LBA (Logical Block Addressing) をサポートしているかを表示します。 |
| * PIO Mode | ドライブの PIO 転送モード |
| * DMA Mode | HDD の DMA 転送モード |
| * SMART Monitoring | S.M.A.R.T (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) の状態 |
| Type | ドライブを使用するかどうかを設定します。 Auto : 使用します。 Not Installed : 使用しません。 |
| LBA / Large Mode | LBA (Logical Block Addressing) を使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Auto : 使用します。 |
| Block Mode | Block 転送モードを使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Auto : 使用します。 |
| SMART Monitoring | 初期値 [Disabled] のままで使用します。 |
| SATA Configuration | シリアル ATA HDD のモードを設定します。 |
| Standard IDE Mode | 初期値 [Enhanced Mode] のままで使用します。 |
| System Information | 本機のシステム情報が表示されます。 |
| AMIBIOS | UEFI の情報が表示されます。 |
| * Version | UEFI のバージョン |
| * Build Date | UEFI のバージョンの制定日 |
| Memory Information | 本機に搭載されているメモリの情報が表示されます。 |
| * Installed Memory | 本機に搭載されているメモリー容量 |

Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、CPU やマザーボード上のデバイスの設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

| | |
|---|---|
| CPU Configuration | 本機に搭載されている CPU の設定をします。 |
| * Manufacturer | CPU のメーカー |
| * Brand String | CPU の型番 |
| * Frequency | CPU の周波数 |
| * Cache L1 | CPU の L1 キャッシュ容量 |
| * Cache L2 | CPU の L2 キャッシュ容量 |
| * Cache L3 | CPU の L3 キャッシュ容量 |
| * CPUID | CPU ID |
| * Ratio Status | CPU クロックの設定値 |
| * Ratio Actual Value | ベースクロックに対する倍率 |
| Hyper Threading Technology ※機能を持つ CPU 搭載時のみ表示されます。 | ハイパースレッディング機能の有効 / 無効を設定します。 Enabled : 有効にします。 Disabled: 無効にします。 |
| Virtualization Technology ※機能を持つ CPU 搭載時のみ表示されます。 | Intel Virtualization Technology 機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。 |
| Turbo Boost Technology ※機能を持つ CPU 搭載時のみ表示されます。 | ターボブースト機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。 |
| Onboard Devices Configuration | マザーボード上のデバイスの設定をします。 |
| Onboard Audio | マザーボード上のサウンド機能を使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled : 使用します。 |
| Onboard LAN | マザーボード上のネットワーク機能を使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled : 使用します。 |
| UEFI IPv4 PEX | リモートブート機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。 |
| UEFI IPv6 PEX | リモートブート機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled : 有効にします。 |
| USB Configuration | USB コントローラーの設定をします。 |
| USB Function | マザーボード上の USB 機能を使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled : 使用します。 |
| Legacy USB Support | 初期値 [Enabled] のままで使用します。 |

Powerメニュー画面

「Power」メニュー画面では、省電力機能や起動に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

| | |
|---|---|
| ACPI Support | 初期値 [v4.0] のままで使用します。 |
| APM Configuration | 本機の起動に関する設定をします。 |
| Restore On AC Power Loss | 電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかどうかを設定します。 分電盤などによる複数のコンピューターの同時起動を行うと、コンピューターの動作に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。 Power OFF：電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。 Power ON：電源オフ時に、電源スイッチを押さなくても、電源が供給されるとコンピューターが起動します。 Last State：コンピューターの動作中に、雷などの影響で突然電源が切断されたあとに電源が再び供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピューターが起動します。コンピューターを正常終了させた状態では、電源が供給されてもコンピューターは起動しません。 |
| Power On By RTC Alarm | コンピューターを指定した時間に起動させる設定をします。 Disabled：設定しません。 Enabled：設定します。 |
| RTC Alarm Date/Hour/Minute/Second ※ 「Power On By RTC Alarm」を [Enabled] に設定すると表示されます。 | 起動する日時を設定します。 |
| Wake On LAN | 電源切断時、マザーボード上のネットワークから起動するかどうかを設定します。 この機能は、Windows を正常に終了した状態でのみ使用可能です。 Disabled：設定しません。 Enabled：設定します。 |
| Power On By PS/2 Keyboard | PS/2 キーボードを使用している場合に、起動 / 復帰をキーボードで行えるようにするかどうかを設定します。 Ctrl + ESC： Ctrl + Esc を使用します。 Power Key：Power キー付キーボードの場合、Power キーを使用します。 Disabled：設定しません。 |
| Fan Control | ファンの制御をします。 |
| * CPU Fan Speed | CPU ファンの回転数 |
| CPU Fan Ratio | CPU ファンの回転率を設定します。初期値は [20%] です。 |

Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動（Boot）に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

| | |
|-----------------------------|---|
| Boot Device Priority | ドライブの起動順番を設定します。 |
| 1st Boot Device | 1 番目に起動するドライブを設定します。 初期値：UEFI |
| 2nd Boot Device | 2 番目に起動するドライブを設定します。 初期値：光ディスクドライブ |
| 3rd Boot Device | 3 番目に起動するドライブを設定します。 初期値：USB 記憶装置 |
| 4th Boot Device | 4 番目に起動するドライブを設定します。 初期値：HDD |
| 5th Boot Device | 5 番目に起動するドライブを設定します。 初期値：ネットワーク |
| UEFI Boot Drives | UEFI の起動順番が表示されます。 |
| 1st Boot Device ... | UEFI の起動順番 |
| Boot Settings Configuration | コンピューター起動時の設定をします。 |
| Full Screen Logo | コンピューター起動時にロゴを表示するかどうかを設定します。 Disabled：表示しません。 Enabled：表示します。 |
| Bootup Num-Lock | DOS 起動時の NumLock の状態を設定します。 Off：NumLock が押されていない状態にします。 On：NumLock が押された状態にします。 |
| * UEFI boot | UEFI モードでの起動の状態 |

※ FDD や USB フラッシュメモリーなどから起動する場合は、「Security」メニュー画面の「Secure Boot」を [Disabled] に設定し、「Boot」メニュー画面の「UEFI Boot」を [Disabled] に設定します。

Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、セキュリティに関する設定を行います。
パスワードの設定方法は、 p.90 「パスワードを設定する」をご覧ください。
設定項目は、次のとおりです。

 は初期値

*は項目表示のみ

| | |
|---|---|
| Security Settings | セキュリティに関する設定をします。 |
| Supervisor Password/ User Password | Supervisor Password (管理者パスワード) と User Password (ユーザーパスワード) が設定されているかどうかが表示されます。 Installed : パスワードが設定されています。 Not Installed : パスワードが設定されていません。 |
| Change Supervisor Password | 管理者パスワードの設定や変更を行います。 |
| User Access Level ※管理者パスワードを設定 すると表示されます。 | 「User Password」(ユーザーパスワード) で「UEFI Setup ユーティリティ」にアクセスするときのアクセス制限レベルを設定します。 No Access : ユーザーパスワード使用者は「UEFI Setup ユーティリティ」を起動することができません。 View Only : ユーザーパスワード使用者は「UEFI Setup ユーティリティ」を閲覧できますが、設定項目の変更はできません。 Limited : 「UEFI Setup ユーティリティ」を閲覧できるほか、ユーザーパスワードなど一部の設定項目を変更できます。 Full Access : ユーザーパスワード使用者に管理者と同一の権利を許可します。「UEFI Setup ユーティリティ」のすべての項目を設定したり閲覧したりすることができます。ただし、管理者パスワードの変更はできません。 |
| Change User Password ※管理者パスワードを設定 すると表示されます。 | ユーザーパスワードの設定や変更を行います。 |
| Password Check ※管理者パスワードを設定 すると表示されます。 | 管理者パスワード、ユーザーパスワードを設定している場合に、パスワード入力 を要求するタイミングを設定します。 Setup : 「UEFI Setup ユーティリティ」起動時にパスワード入力を要求し ます。 Always : 「UEFI Setup ユーティリティ」起動時、システム起動時、休止状 態から復帰時にパスワード入力を要求します。 |
| Hard Disk Protection ※管理者パスワードを設定 すると設定可能になりま す。 | HDD へのアクセス制限の有効 / 無効を設定します。アクセス制限を有効に設定 した HDD は、ほかのコンピューターに接続しても認識されなくなります。 有効に設定すると、UEFI、システムへのアクセスが制限され、UEFI 起動時と システム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求します。 Disabled: HDD へのアクセスを制限しません。 Enabled : HDD へのアクセスを制限します。 ※ HDD アクセス制限を設定 / 解除する場合は、必ず本機を一度シャットダウン してから行ってください。また、設定 / 解除後にも本機をシャットダウンし てください。 |
| Secure Boot | セキュアブートの設定をします。 |
| *System Mode State | システムモードの状態が表示されます。 User : セキュアブートのキーが適用されています。 Setup : セキュアブートのキーが適用されていません。 |

| | |
|---|--|
| Secure Boot | セキュアブートの設定をします。 初期値 [Enabled] のままで使用します。 |
| Secure Boot Mode | セキュアブートのモード設定をします。 [Custom] に設定すると、詳細設定を行うことができます。 |
| Default Key Provisioning | [Disabled] に設定すると、セキュアブートのキー管理項目が表示されます。 ※ [Enabled] の状態で UEFI を再起動すると、「System Mode State」項目は [User] に設定されます。 |
| Manage All Factory Keys (PK,KEK,DB,DBX) | セキュアブートのキーを管理します。 ※ 「Secure Boot Mode」を [Custom] に設定し、「Default Key Provisioning」を [Disabled] に設定すると表示されます。 |
| Install default Secure Boot keys | セキュアブートのキーを適用します。 |
| Clear Secure Boot keys | セキュアブートのキーをのキーをクリアします。 |

Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面では、UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻したりします。

設定項目は、次のとおりです。

| | |
|---|---|
| Exit & Save Changes | 変更した内容(設定値)を保存してから、UEFI Setup ユーティリティを終了します。 |
| Exit & Discard Changes | 変更した内容(設定値)を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。 |
| Discard Changes | UEFI Setup ユーティリティを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。 |
| Load Setup Defaults | UEFI Setup ユーティリティの設定値を、UEFI の初期値に戻します。 ※ 「Security」メニュー画面の項目を UEFI の初期値に戻すことはできません。 |
| Save User Define | UEFI の設定値をユーザー設定値として保存します。 |
| Load Setup User Define ※ 「Save User Define」で設定値を保存後、実行可能になります。 | 設定値をユーザー設定値に戻します。 |

UEFIの設定値

UEFI Setup ユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておくことと便利です。ユーザー設定値は、保存しておくこともできます。🔗 p.89 「ユーザー設定値を保存する」

Mainメニュー画面

| 項目 | | 購入時の設定 | | 変更内容 | |
|-----------|----------------|--------|---------------|------|---------------|
| SATAO ~ 1 | Type | Auto | Not Installed | Auto | Not Installed |
| | LBA/Large Mode | Auto | Disabled | Auto | Disabled |
| | Block Mode | Auto | Disabled | Auto | Disabled |

Advanced メニュー画面

| 項 目 | | 購入時の設定 | | 変更内容 | |
|-------------------------------|----------------------------|----------|---------|----------|---------|
| CPU Configuration | Hyper Threading Technology | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| | Virtualization Technology | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| | Turbo Boost Technology | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| Onboard Devices Configuration | Onboard Audio | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| | Onboard LAN | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| | UEFI IPv4 PEX | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| | UEFI IPv6 PEX | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| USB Configuration | USB Function | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |

Power メニュー画面

| 項 目 | | 購入時の設定 | | 変更内容 | |
|-------------------|---------------------------|-------------------------------|----------------------|-------------------------------|----------------------|
| APM Configuration | Restore on AC Power Loss | Power OFF Power ON Last State | | Power OFF Power ON Last State | |
| | Power On By RTC Alarm | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| | Wake On LAN | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| | Power On By PS/2 Keyboard | Disabled | Ctrl + ESC Power Key | Disabled | Ctrl + ESC Power Key |

Boot メニュー画面

| 項 目 | | 購入時の設定 | | 変更内容 | |
|-----------------------------|------------------|----------|---------|----------|---------|
| Boot Device Priority | 1st Boot Device | Disabled | () | Disabled | () |
| | 2nd Boot Device | Disabled | () | Disabled | () |
| | 3rd Boot Device | Disabled | () | Disabled | () |
| | 4th Boot Device | Disabled | () | Disabled | () |
| Boot Settings Configuration | Full Screen Logo | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| | Bootup Num-Lock | Off | On | Off | On |

Security メニュー画面

| 項 目 | | 購入時の設定 | | 変更内容 | |
|-------------------|----------------------|-------------------|-----------------------|-------------------|-----------------------|
| Security Settings | Supervisor Password | Not Installed | Installed | Not Installed | Installed |
| | User Password | Not Installed | Installed | Not Installed | Installed |
| | User Access Level | No Access Limited | View Only Full Access | No Access Limited | View Only Full Access |
| | Password Check | Setup | Always | Setup | Always |
| | Hard Disk Protection | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |

4

再インストール

Windows やドライバー / アプリを再インストールする手順について説明します。

| | |
|---------------------------------|-----|
| 再インストールの前に | 104 |
| PC をリフレッシュする | 105 |
| すべてを削除して Windows を再インストールする ... | 106 |

再インストールの前に

再インストールとは、Windows やドライバー / アプリを入れなおすことを言います。
再インストール方法は、次の 2 つです。目的や状況に応じた方法を選択してください。

| | 名称 | こんなときに実行します | 実行後に残るデータ | 実行後に削除されるデータ |
|---|--|---|--|--|
| 1 | PC をリフレッシュする  p.105 | <ul style="list-style-type: none">● Windows の動作が不安定になったとき● Windows が正常に起動しないとき | <ul style="list-style-type: none">● 購入時にインストールされていたドライバー、Windows アプリ、Windows ストア アプリ● 購入後にダウンロードした Windows ストア アプリ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）● 個人用設定● Windows Update でダウンロードした更新プログラム | <ul style="list-style-type: none">● 購入後にインストールした Windows アプリ |
| 2 | すべてを削除して Windows を再インストールする  p.106 | <ul style="list-style-type: none">● 1 を行っても問題が改善しない場合● インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、購入時の状態に戻りたい場合 | <ul style="list-style-type: none">● 購入時にインストールされていたドライバー、Windows アプリ、Windows ストア アプリ | <ul style="list-style-type: none">● 購入後にダウンロードした Windows ストア アプリ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）● 個人用設定● 購入後にインストールした Windows アプリ● Windows Update でダウンロードした更新プログラム |

重要事項

再インストールの前に、次の重要事項を必ずお読みください。

● 当社製以外の UEFI へのアップデート禁止

当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対にしないでください。当社製以外の UEFI にアップデートすると、再インストールができなくなります。

● 最新の情報

再インストールに関する、最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業をすすめてください。

● システム構成

本章の手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。再インストールは UEFI の設定とシステム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。

● 管理者アカウントでログオン

再インストールは、管理者アカウントでログオンして行ってください。

PC をリフレッシュする

Windows が正常に起動できないときや動作が不安定になった場合には、PC をリフレッシュします。

PCをリフレッシュする方法

PC をリフレッシュする場合は、状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

Windows が起動できる場合

Windows が起動できる場合は、設定メニューで PC をリフレッシュしてください。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」をクリックします。
- 2** 「PC 設定」画面が表示されたら、左側の「全般」をクリックし、右側に表示された「PC をリフレッシュする」の「開始する」をクリックします。
- 3** 「PC のリフレッシュ」と表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 4** 「PC をリフレッシュする準備ができました」と表示されたら、「リフレッシュ」をクリックします。

本機が再起動し、リフレッシュが開始されます。リフレッシュには約 20 分かかります。リフレッシュ中はキーボードやマウスを操作しないでください。リフレッシュが終了すると、スタート画面が表示されます。必要に応じて、削除された Windows アプリをインストールしてください。

Windows が起動できない場合

Windows が起動できない場合は、HDD 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で PC をリフレッシュしてください。

 p.123 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」

すべてを削除して Windows を再インストールする

次のような場合は、すべてを削除して Windows を再インストールします。

- 「PC をリフレッシュする」を行っても問題が改善しない場合
- インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、購入時の状態に戻りたい場合

バックアップを取る

C ドライブの設定やデータは、Windows の再インストールを行うと消えてしまいます。可能な場合は、再インストールの前に、設定を書き写したり、バックアップを行ってください。

すべてを削除して Windows を再インストールする方法

すべてを削除して Windows を再インストールする場合は、状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

Windows が起動できる場合

Windows が起動できる場合は、設定メニューで再インストールを行ってください。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC の詳細設定」をクリックします。
- 2** 「PC 設定」画面が表示されたら、左側の「全般」をクリックし、右側に表示された「すべてを削除して Windows を再インストールする」の [開始する] をクリックします。
- 3** 「PC を初期状態に戻す」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 4** PC に複数のドライブがあります」と表示された場合は、「Windows がインストールされているドライブのみ」を選択します。
- 5** 「ドライブを完全にクリーンアップしますか?」と表示されたら、「ファイルの削除のみ行う」を選択します。
- 6** 「PC を初期状態に戻す準備ができました」と表示されたら、[初期状態に戻す] をクリックします。
本機が再起動し、再インストールが開始されます。再インストールには約 10 分かかります。再インストール中はキーボードやマウスを操作しないでください。
- 7** 「ライセンス条項」と表示されたら、画面に表示された内容を確認し、「Windows とこの PC のライセンス条項に同意します」にチェックを付けて、[同意する] をクリックします。

- 8** 「パーソナル設定」と表示されたら、色を選択、PC 名を入力し、[次へ]をクリックします。
※ PC 名は半角英数字を入力してください。
- 9** 「設定」と表示されたら、[簡単設定を使う]をクリックします。
- 10** 「PC へのサインイン」と表示されたら、以降は画面の指示に従って設定を行います。
※ユーザー名は半角英数字を入力してください。

再インストールが終了すると、スタート画面が表示されます。
必要に応じて、削除されたアプリをインストールしたり、設定を行ったりしてください。

Windows が起動できない場合

Windows が起動できない場合は、HDD 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストール (PC を初期状態に戻す) を行ってください。

 p.123 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」



5

困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

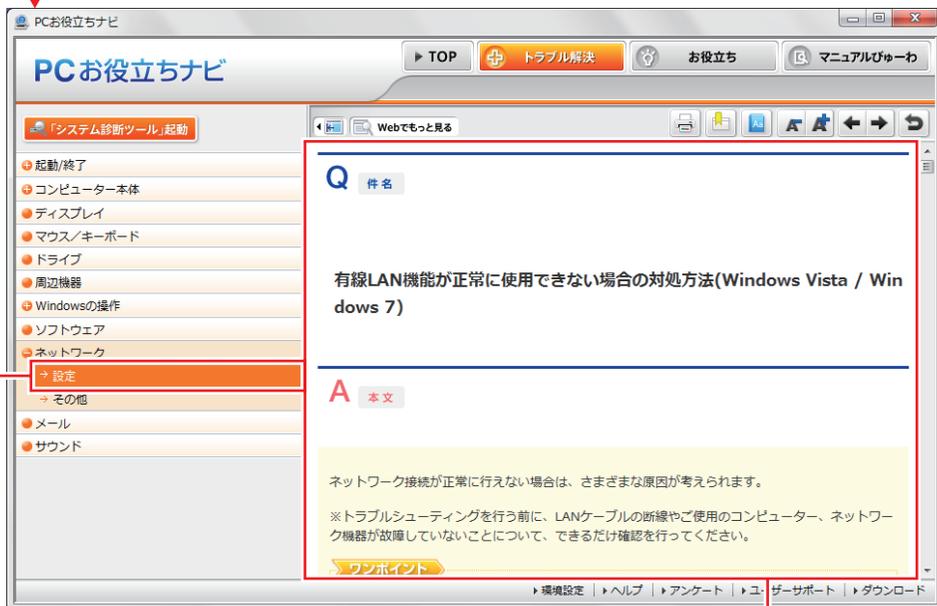
| | |
|---------------------|-----|
| トラブルが発生したら..... | 110 |
| 起動・画面表示できないときは..... | 112 |
| トラブル時に効果的な対処方法..... | 117 |

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、[PC お役立ちナビ] の [トラブル解決] で対処方法を探してください。



トラブルの種類を選択します

候補の中から見たい項目を選択すると、内容が表示されます

システム診断ツール

[PC お役立ちナビ]の [トラブル解決] には、システム診断ツールが搭載されています。

 p.124 「システム診断ツールを使う」



Windows のトラブルシューティングツール

Windows 8 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

画面左下隅で右クリック - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってください。

起動・画面表示できない場合

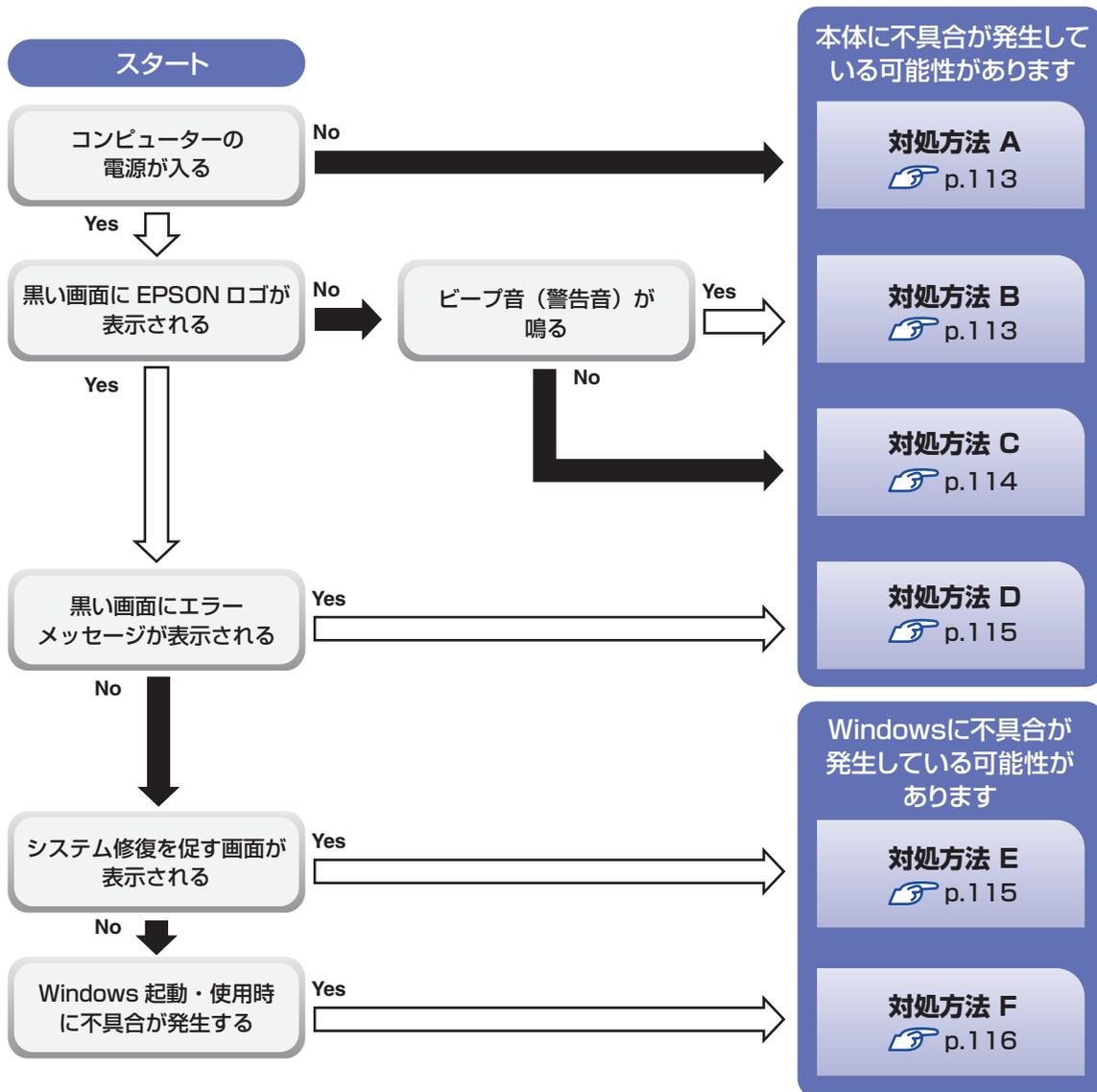
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.112「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処を行ってください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、 p.113「対処をする」へ進んでください。



対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処を行っても不具合が解消しない場合は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。

- 1 コンピューター本体の電源を入れなおす**
電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。
- 2 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす**
電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 3 壁のコンセントに直接接続する**
電源タップなどにコンピューターの電源コードを接続している場合は、電源タップなどを使用せず、壁にあるコンセントに直接コンピューターの電源コードを接続して、電源を入れてみてください。
- 4 消費電力の大きい機器を停止する**
大画面テレビやエアコンなど、消費電力の大きい機器を使用している場合、それらの機器の電源を切ってから、コンピューターの電源を入れてみてください。
- 5 周辺機器や増設した装置を取り外す**
本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 6 CMOS RAM の初期化を行う**
CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。
 p.120 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

対処方法 B

次の対処を順番に行ってみてください。

- 1 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす**
電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。



2 メモリーを差しなおす

メモリーに不具合が発生している可能性があります。メモリーを抜き差しし、問題が解決されるかどうか確認してください。本機内部にホコリがたまっている場合は、除去してください。

 p.73 「メモリーの取り付け・取り外し」

3 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.120 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

対処方法 C

次の対処を順番に行ってみてください。

1 ディスプレイの電源ランプを確認する

ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。ディスプレイの電源ランプが通常動作時の状態になっているかどうか確認してください。

2 ディ스플레이ケーブルを接続しなおす

コンピューター本体とディスプレイの接続に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、ディスプレイケーブルを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決するかどうか確認してください。

3 ディスプレイの表示を切り替える

ディスプレイ側に表示の切り替え機能がある場合は、表示を切り替えてみてください。

4 別のディスプレイを接続する

ディスプレイとコンピューター、どちらの問題かを切り分けるため、別のディスプレイをお持ちの場合は、コンピューターを接続し、画面が表示されるか確認してください。

5 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす

電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

6 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

7 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.120 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

対処方法 D

まず、次の表をご覧くださいになり、エラーメッセージに応じた対処をしてください。

| メッセージ | 内容および対処法 |
|---|--|
| Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key | HDD が検出できません。本機の電源を切り、Windows がインストールされている HDD にケーブルが接続されているか確認してください。 |
| CPU Fan Error! | CPU ファンが正常に動作していません。本機の電源を切り、20 秒以上待ってから電源を入れてください。また、CPU ファンのケーブルが CPU ファンコネクタに接続されているか確認してください。 |
| CMOS Checksum Bad Press F1 to Run SETUP Press F2 to load default values and continue | <p>F1 を押すと、UEFI Setup ユーティリティが起動します。通常は、F5 を押して UEFI を初期化し、F10 を押して UEFI Setup ユーティリティを終了すると、Windows が起動します。</p> <p>※ 「Security」メニュー画面の「Secure Boot」項目が [Enabled] になっていることを確認してください。[Enabled] に設定されていないと、Windows 8 が起動できなくなります。起動の度にメッセージが表示される場合は、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してみてください。</p> <p> p.120 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」</p> |

あてはまるメッセージがない場合は、次のとおり対処してみてください。

1 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

2 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.120 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

対処方法 E

次の対処を行ってください。

1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する

2 再インストールをする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.103 「再インストール」

対処方法 F

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 マウスやキーボードの状態を確認する

「シャットダウン」の状態でもウスやキーボードを交換してしまうと、認識されず、Windows の操作ができなくなる場合があります。元のマウスやキーボードに戻してみてください。マウスやキーボードの交換は、「PC の電源を切る」で完全に電源を切った状態で行ってください。

 『スタートアップガイド』 - 「終了方法」

4 常駐アプリを停止したり、システムの復元を行う

常駐アプリ（システム稼動中、常に稼動しているアプリ）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

 p.119 「常駐アプリの停止」

常駐アプリが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.119 「システムの復元」

5 UEFI の設定を初期値に戻す

UEFI の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。UEFI の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に UEFI の設定をメモしておいてください。

 p.88 「Load Setup Defaults（UEFI の初期値に戻す）」

6 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.120 「リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）」

7 再インストールをする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.103 「再インストール」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

| 機能 | こんなときに |
|--|---|
| 再起動  p.118 本機を再起動します。 | <ul style="list-style-type: none">・使用しているアプリで指示があった場合・アプリや Windows の動作が不安定になったとき |
| アプリの強制終了  p.118 アプリを強制終了します。 | <ul style="list-style-type: none">・アプリや Windows が、キーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなったとき |
| 常駐アプリの停止  p.119 不具合のある常駐アプリを停止します。 | <ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき |
| システムの復元  p.119 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。 | <ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき |
| UEFI の初期化  p.88 UEFI の設定を初期値に戻します。 | <ul style="list-style-type: none">・UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき |
| CMOS RAM の初期化  p.120 CMOS RAM の保存データを初期化します。 | <ul style="list-style-type: none">・UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき・UEFI のパスワードを忘れてしまったとき |
| リチウム電池の交換  p.120 リチウム電池を交換します。 | <ul style="list-style-type: none">・日時や時間がおかしくなる・UEFI で設定した値が変わってしまう |
| 再インストール  p.103 再インストールを行って、不具合を改善します。 | <ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき） |
| Windows 回復環境 (Windows RE)  p.123 Windows を修復します。 | <ul style="list-style-type: none">・システム回復を促す画面が表示されたとき・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき |
| システム診断ツール  p.124 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。 | <ul style="list-style-type: none">・不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき |

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- Windows の動作が不安定になった場合
- Windows Update を行った場合
- ドライバーやアプリをインストールした場合
- アプリで再起動の指示が表示された場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

- 1** チャームを表示－「設定チャーム」－「電源」－「再起動」をクリックします。
 『スタートアップガイド』－「設定メニュー」

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

アプリの強制終了

アプリや Windows がキーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。

ハングアップした場合は、アプリの強制終了を行います。

アプリの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1**  +  +  を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャー」をクリックします。
- 3** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、ハングアップしているアプリを選択して【タスクの終了】をクリックします。
アプリが終了します。

強制的に電源を切る

 +  +  を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1** 電源スイッチ（）を 5 秒以上押し続けます。
本機の電源が切れます。

常駐アプリの停止

常駐アプリ（システム稼動中、常に稼動しているアプリ）が原因で本機に不具合が発生していることもあります。一時的に常駐アプリを停止してみてください。

常駐アプリを停止する手順は次のとおりです。

- 1** **Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャー」をクリックします。
- 3** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、詳細表示にして「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐アプリ）を選択し、[無効にする] をクリックします。

常駐アプリが原因ではなかった場合、[有効にする] をクリックして元に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

復元ポイントは通常、アプリのインストールなどを行った際に自動的に作成されます。

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1** 画面左下隅で右クリック→「システム」→画面左「システムの保護」→「システムの復元」をクリックします。
- 2** 「システム ファイルと設定の復元」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 3** 復元ポイントの一覧が表示されたら、復元ポイントを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了] をクリックします。
- 5** 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、[はい] をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 6** デスクトップを表示し、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。
これでシステムの復元は完了です。

リチウム電池の脱着(CMOS RAMの初期化)

「UEFI Setup ユーティリティ」で設定した情報は、マザーボード上の COMS RAM に保存され、リチウム電池により保持されています。

リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、寿命は約 3 年です。日時や時間がおかしくなったり、UEFI で設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。このような場合は、リチウム電池を交換してください。

UEFI のパスワードを忘れてたり、項目設定を誤ったりして本機が起動しなくなった場合には、リチウム電池を装着しなおすことで、CMOS RAM が初期化され、問題が解決できる場合があります。お試しください。

本機で使用できるリチウム電池は、次のとおりです。

- CR2032 (または同等品)



- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- 作業するときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。



- リチウム電池の取り外しは、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所 (ぐらついた机の上や傾いた所など) で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



- リチウム電池を取り外すと、現在の UEFI の設定情報は初期値に戻ります。リチウム電池を取り外す前に、UEFI の設定値を記録しておくことをおすすめします。ユーザーの設定値は、「Save User Define」で保存しておくこともできます。詳しくは、詳しくは [👉 p.89 「ユーザー設定値を保存する」](#) をご覧ください。
- UEFI でパスワードを設定し、HDD のアクセスを制限していた場合、リチウム電池を取り外しても、HDD へのアクセス制限を解除することはできません。HDD へのアクセス制限を設定した HDD は、パスワードを忘れると使用できなくなります。

リチウム電池の脱着方法は、次のとおりです。

1 本機および接続している周辺機器の電源を切ります。

増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。
通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。

- 1 チャームを表示－「設定チャーム」－「電源」で **[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
- 2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。

作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで 10 分以上放置してください。

2 本機に接続しているケーブル類（電源コードなど）を、すべて外します。

3 本機を縦置きで使用している場合は、縦置きスタンドを取り外します。

 p.73

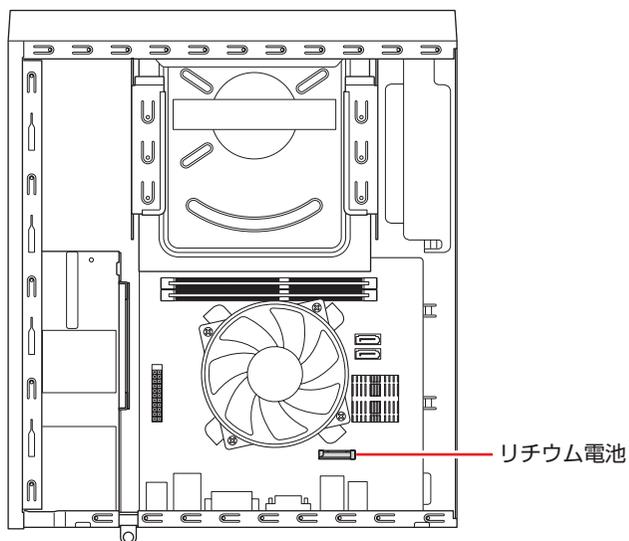
4 本機を横置きし、本体カバーを取り外します。

 p.74

5 リチウム電池の位置を確認します。

リチウム電池は、マザーボード上の次の位置にあります。

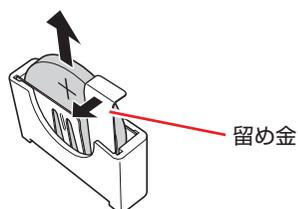
本体前面側



6 リチウム電池を取り外します。

留め金を外側にひっぱりながら、電池を上引き抜きます。

※ 電池ホルダーの形状は、イラストと異なる場合があります。



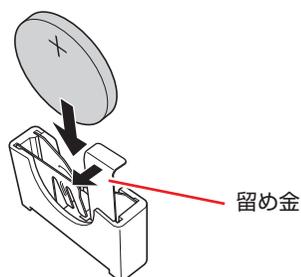
7 約 1 分間放置します。

8 リチウム電池を取り付けます。

留め金を外側にひっぱりながら、電池を電池ホルダーに押し込みます。

※ 電池の刻印面 (+ 側) を外側に向けてセットしてください。

※ 電池ホルダーの形状は、イラストと異なる場合があります。



9 本体カバーを取り付けます。

 p.78

10 縦置きで使用する場合は、縦置きスタンドを取り付けます。

11 2 で外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

12 本機の電源を入れます。

13 「EPSON」と表示後、黒い画面に「CMOS Checksum Bad」と表示されたら、

F1 を押します。

UEFI Setup ユーティリティが起動します。

14 **F5** を押して UEFI を初期値に戻します。

15 日付、時刻やそのほか変更する必要がある項目の再設定を行います。

ユーザーの設定値を保存しておいた場合は、「Load Setup User Define」で戻すことができます。詳しくは  p.89 「ユーザー設定値を保存する」をご覧ください。

16 「Security」メニュー画面の「Secure Boot」項目を「Enabled」に設定します。

※ 「Enabled」に設定しないと、Windows 8 が起動できなくなります。

17 **F10** を押して UEFI Setup ユーティリティーを終了します。

使用済みリチウム電池の取り扱い

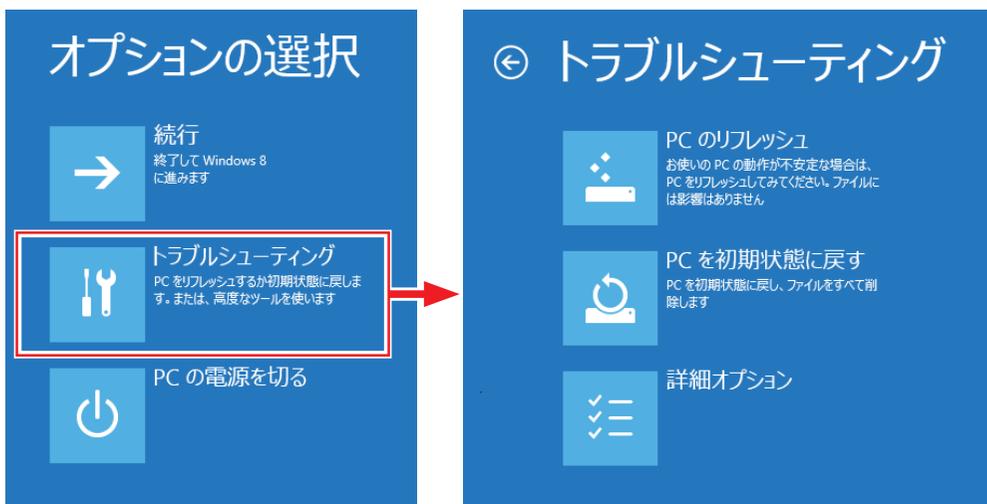
使用済みのリチウム電池は、ショートしないようにテープを貼って絶縁し、リサイクル協力店にある回収ボックスに入れてください。

リチウム電池は、燃やしたり埋めたり一般ゴミに混ぜて捨てたりしないでください。環境破壊の原因となります。

Windows回復環境(Windows RE)を使う

本機のHDD内には、「Windows 回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows RE を使用して、修復を行ってみてください。

Windows RE は、本機にトラブルが起きると、自動的に起動します。



Windows RE の項目

Windows RE には、次の項目があります。

- PC のリフレッシュ

 p.105 「PC をリフレッシュする」

- PC を初期状態に戻す

本機を出荷時の状態に戻します。本機をリサイクルするときや、最初の状態から完全にやりなおすときに行います。

 p.106 「すべてを削除して Windows を再インストールする」

●詳細オプション

- ・システムの復元

 p.119 「システムの復元」

- ・イメージでシステムを回復

事前にシステムのイメージを保存しておいた場合は、Windows やアプリを、イメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。※個人用ファイルは削除されます。

- ・自動修復

Windows を起動できない問題を自動的に修正します。Windows が起動できないときは、まず自動修復を行ってみてください。

- ・コマンドプロンプト

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断を実行する

PC お役立ちナビからシステム診断を行います。

実行方法は、次のとおりです。

- 1** [PC お役立ちナビ] - [トラブル解決] - [システム診断ツール起動] をクリックします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 3** システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をクリックします。
該当項目の診断が開始されます。
- 4** 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
 『別冊』『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



付録

本機のお手入れ方法や HDD 領域の変更方法などについて記載しています。

| | |
|-----------------------|-----|
| お手入れ | 126 |
| HDD 領域の変更 | 127 |
| コンピューターを廃棄するときは | 130 |
| 機能仕様一覧 | 131 |

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。キーボードやマウスの外装の汚れも同様です。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。
変色や変形の可能性があります。

通風孔

コンピューターの通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。通風孔のホコリは、定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

内部

本体内部にホコリなどがたまっている場合は、エアースプレーで吹き飛ばしてください。



- 本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。
- 電源ユニットは絶対に分解しないでください。けがや感電・火災の原因となります。



- 作業時は、誤って本体内部の部品を傷つけないよう注意してください。
- 水分を含ませたティッシュや化学ぞうきんなどは、使わないでください。水分や化学物質により故障の原因となります。

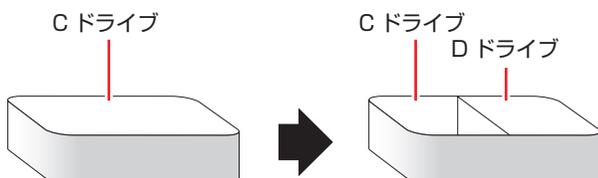
HDD 領域の変更

ここでは、HDD 領域の変更方法について説明します。

HDD領域を分割して使用する(概要)

HDD 領域は、いくつかに分けて使用することができます。

分割したひとつひとつの領域を「パーティション」と言います。また、Windows で使えるように作成した領域を「ドライブ」と言います。



HDD領域の変更(拡張/縮小/削除/作成)

HDD 領域の変更は、Windows の「ディスクの管理」で行います。

C ドライブ (Windows がインストールされているドライブ) の領域変更も、「ディスクの管理」で行うことができます。

制限

- 作業の前に、重要なデータは外付け HDD などにバックアップしてください。
- 拡張は、ドライブのすぐ後ろ (右隣) に「未割り当て」領域がある場合のみ可能です。
- 縮小できるサイズには限界があります。
- C ドライブ (Windows がインストールされているドライブ) は削除できません。
- ドライブを削除すると、ドライブ内のすべてのデータは削除されます。
- 作成は、「未割り当て」領域がある場合のみ可能です。

参考

リカバリー領域 / Windows RE 領域

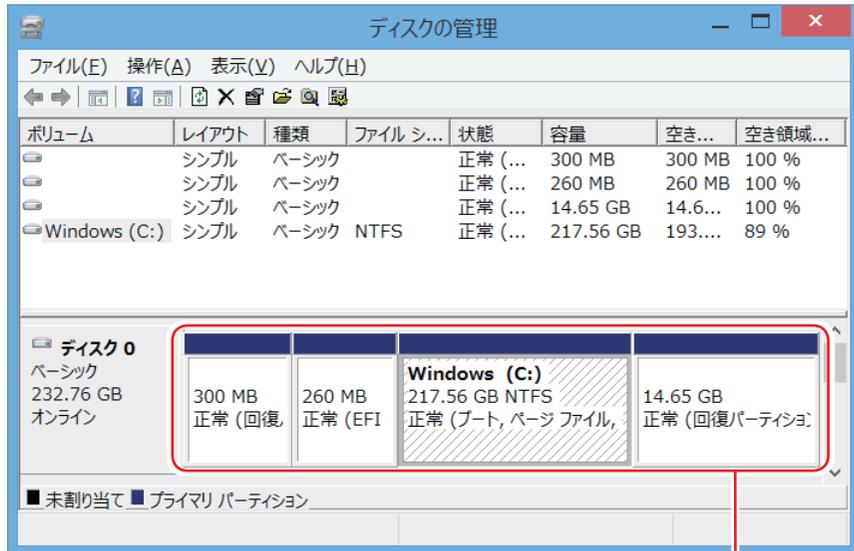
リカバリー領域 (約 15GB) には、再インストール用のデータ (Windows / ドライバー / アプリ) が収録されています。また、Windows RE 領域 (約 300MB) には、Windows 回復環境 (Windows RE) が設定されています。

これらの領域を削除すると、再インストールや Windows RE の使用ができなくなりますので、ご注意ください。

HDD 領域の変更（拡張 / 縮小 / 削除 / 作成）方法は、次のとおりです。

1 画面左下隅で右クリックして「ディスク管理」をクリックします。

新しいHDDを装着した場合は、「ディスクの初期化」画面が表示されます。[OK] をクリックして、ディスクの初期化を行ってください。



<イメージ>

HDD領域の状態

2 HDD領域の変更（拡張 / 縮小 / 削除 / 作成）を行います。

ドライブを拡張する場合

- 1 拡張するドライブを右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの拡張」をクリックします。
- 2 「ボリュームの拡張ウィザードの開始」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 3 「ディスクの選択」と表示されたら、「ディスク領域 (MB) を選択」で拡張する容量を入力し、[次へ] をクリックします。
- 4 「ボリュームの拡張ウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。
ドライブが拡張され、ドライブの容量が増えます。

ドライブを縮小する場合

- 1 縮小するドライブを右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの縮小」をクリックします。
- 2 「(ドライブ文字) の縮小」画面が表示されたら、「縮小する領域のサイズ」を入力し、[縮小] をクリックします。

ドライブが縮小され、「未割り当て」領域が増えます。

※ C ドライブの目安：120GB (120000MB) 以上

ドライブを削除する場合

- 1 削除するドライブを右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの削除」をクリックします。
- 2 「・・・続行しますか？」と表示されたら [はい] をクリックします。
ドライブが削除され、「未割り当て」領域が増えます。

ドライブを作成する場合

- 1 「未割り当て」を右クリックして、表示されたメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックします。
- 2 「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 3 「ボリュームサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して、[次へ] をクリックします。
- 4 「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、ドライブ文字を選択して [次へ] をクリックします。
- 5 「パーティションのフォーマット」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6 「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。
フォーマットが開始します。フォーマットが完了したら、ドライブが使用できるようになります。

コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、HDD のデータ消去方法について説明します。
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

コンピューターの廃棄・譲渡時のHDD上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中のHDDという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、このHDD内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ① データを「ごみ箱」に捨てる
- ② 「削除」操作を行う
- ③ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ④ アプリで初期化（フォーマット）する
- ⑤ 再インストールを行い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。

まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OSのもとでファイルを復元する事ができてしまいます。更に②～⑤の操作をしても、HDD内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にはデータが見えなくなっているだけの場合があります。

つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのアプリを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターのHDD内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、HDD上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、HDDに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用アプリあるいはサービス（有償）を利用するか、HDD上のデータを物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、HDD上のソフトウェア（OS、アプリなど）を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

機能仕様一覧

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 型番 | AY321S | |
| CPU | プロセッサ | 購入時の選択による |
| | ソケット | LGA1155 Socket |
| チップセット | インテル H61 Express | |
| UEFI | AMI | |
| メインメモリー ^{*1} | メモリー | PC3-12800 (DDR3-1600 SDRAM) |
| | 搭載可能容量 (最大) | 8GB |
| | スロット | DIMM スロット (240 ピン) × 2 (同容量 2 枚 1 組で使用の場合、デュアルチャネルで動作) |
| ビデオ機能 (CPU 内蔵) | コントローラー | CPU による |
| | メモリー (メインメモリーと共用) | メインメモリー 2GB 時 最大 746MB メインメモリー 4GB ~ 8GB 時 最大 1664MB |
| | 表示解像度 (最大) ^{*2} | 1600 × 1200、1920 × 1200 (ワイドディスプレイ接続時のみ) True Color 32 ビット (約 1,677 万色) |
| HDD | シリアル ATA300MB/s 対応 3.5 型 HDD | |
| 光ディスクドライブ | シリアル ATA 対応 5.25 型スーパーマルチドライブ | |
| サウンド機能 | インテル ハイ・デフィニション・オーディオ対応 Realtek 製 ALC662 コントローラー | |
| ネットワーク機能 | 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応 Realtek 製 RTL8111E コントローラー | |
| マウス / キーボード | 購入時の選択による | |
| インタフェース | USB2.0 | 8 (前面 × 2、背面 × 6) |
| | LAN | 1 : RJ-45 |
| | サウンド | 前面 : ヘッドホン出力 × 1、マイク入力 × 1 背面 : ライン入力 × 1、ライン出力 × 1、マイク入力 × 1 |
| | ディスプレイ | 2 (DVI-D × 1、VGA × 1) : DVI-D24 ピン、VGA ミニ D-SUB15 ピン |
| | キーボード | 1 : PS/2 互換 ミニ DIN 6 ピン |
| | マウス | 1 : PS/2 互換 ミニ DIN 6 ピン |
| ドライブベイ | 5.25 型ドライブベイ | 1 |
| | 3.5 型 HDD ベイ | 1 |
| 外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ) | 103 × 339 × 289mm (スタンド・突起部を除く) | |
| 質量 | 約 6.0kg (基本構成時) | |
| 電源 | AC100V ± 10% (50/60 Hz) 容量 : 250W | |
| 消費電力 (最大定格出力時) | 358W (理論値) | |
| 動作環境 | 動作温度 : 10 ~ 35℃、動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) | |

^{*1} 今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それにともない、最大搭載可能容量が変更になることがあります。メモリーの最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

^{*2} 本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度であり、接続するディスプレイの仕様によっては表示できない場合があります。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所をご覧ください。



【PC お役立ちナビ】 - 画面下 【ユーザーサポート】 - FAQ 番号 : 23683

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/